

茨城県文化振興計画に基づく施策の取組状況について

(令和4年度第1回茨城県文化審議会資料)

目次・事業体系

I 人材の育成 …… P 1

- (1) 文化の担い手の育成及び確保
- (2) 次世代を担う子どもたちの育成
- (3) 文化に関する教育の充実

II 文化の振興 …… P 15

- (1) 芸術の振興
- (2) 伝統文化の継承及び発展
- (3) 生活文化等の振興
- (4) 文化を活用した地域づくり
- (5) 文化交流の推進

III 文化的資産の活用 …… P 30

- (1) 文化的資産の活用
- (2) 文化財の保存等
- (3) 公共の建築物の建築に当たっての配慮

IV 文化活動の充実 …… P 33

- (1) 県民の文化活動の充実
- (2) 高齢者・障害者等の文化活動の充実
- (3) 青少年の文化活動の充実

V 文化活動の支援体制の充実等 …… P 41

- (1) 文化情報の収集及び提供
- (2) 推進体制の整備
- (3) 文化施設の機能の充実
- (4) 地域における文化活動の支援
- (5) 財政上の措置
- (6) 顕彰

VI いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会及び東京オリンピック・パラリンピックを契機とした文化の向上 …… P 59

- (1) いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会における文化プログラムの実施
- (2) 東京オリンピック・パラリンピックにおける文化プログラムの実施

【凡例】

- ・事業KPIについては、原則として、政策的経費のみ記載している。
- ・事業KPIの基準及び目標に係る時点は、県総合計画（H30.11月策定）の計画期間と整合している。

【事業の評価】

- ・目標の達成度100%以上 「期待以上の成果」
- ・ 80～99% 「概ね期待通りの成果」
- ・ 50～79% 「期待した成果を下回っている」
- ・ 50%未満 「期待された成果があがっていない」

I 人材の育成

1 施策の方向

文化の担い手や次世代を担う子どもたちの育成とともに、文化に関する教育の充実を図る。

2 課題

本県文化の裾野を広げていくためには、柔軟で感受性の優れた年代の子どもたちをはじめ、多くの県民が、質の高い文化を鑑賞・体験する機会の充実を図る必要がある。

また、少子高齢化や過疎化が進む中、文化芸術活動の担い手の高齢化や後継者不足が懸念されており、芸術家や文化団体の活躍する場や発表の機会を提供するなど、文化の担い手を育成する機会の一層の充実を図る必要がある。

3 県の取組状況

(1) 文化の担い手の育成及び確保

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
①茨城県芸術祭★1 (生活文化課) 決算額等(千円) R3 決算:13,175 R4 当初:17,000	県民の優れた芸術創作活動の成果を発表・展示し、広く県民へこれらを鑑賞する機会を提供することにより、県民の文化に対する意識の醸成を図るとともに、心豊かで潤いのある生活を実現することができるよう芸術祭を開催する。	・期間:令和3年10月2日 ～令和3年12月12日 ・場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館等 ・参加者数:3,348人 入場者数:14,603人 計17,951人 ※新型コロナの影響により、26催事中11催事が中止。	・期間:令和4年10月1日 ～令和5年1月7日 ・場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館等	コロナ禍においても各団体が感染防止対策を講じた上で県芸術祭の催事を開催できるよう、R3より感染防止対策に要する経費(会場費、人件費、消耗品費等)として補助金を1,500千円増額。(R4継続)

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
②水戸室内管弦楽団メンバーによる器楽セミナー(旧:高校生のための公開レッスン)★2 (生活文化課) 決算額等(千円) R3 決算:3,596 R4 当初:3,600	県内の高校生以上の管楽器奏者を対象に、世界的な演奏家である水戸室内管弦楽団によるレッスンを実施し、演奏技術の向上を図る。さらに、レッスン終了後には、水戸芸術館等における成果発表コンサートを実施し、受講生の集客力向上及びモチベーション向上につなげるとともに、県民に質の高い演奏を鑑賞する機会を提供する。	管楽器アンサンブル・セミナー ・開催日:令和4年1月16日 ・場所:水戸芸術館 ・受講団体:4団体(20人) ・来場者数:223人 公開レッスン&ミニコンサート ・開催日:令和4年2月13日 ・場所:水戸芸術館 ・受講団体:2団体(36人) ・来場者数:211人	・開催日:令和5年1~2月 ・場所:水戸芸術館、ノバホール ・受講団体:県内の管打楽器奏者、県内吹奏楽・オーケストラ団体 事業内で県内の高校生以上の管打楽器奏者を対象とした管楽器アンサンブル・セミナーと吹奏楽・オーケストラ公開レッスン&ミニコンサートを実施。	管楽器アンサンブル・セミナーは普段貸館をしていない水戸芸術館で実施する。吹奏楽・オーケストラ公開レッスン&ミニコンサートは5年間かけて県内5地域を巡回する計画であり、今年度は県南地域を中心に活動する団体を募集し、つくば市のノバホールで実施する。
③文化芸術体験出前講座★2 (生活文化課) 決算額等(千円) R3 決算:25,837 R4 当初:26,091	児童生徒をはじめとする県民が本格的な文化芸術に触れる機会を提供し、将来の担い手や鑑賞者を育成するとともに、若手演奏家や文化芸術活動団体等に活躍の場を提供する。また、文化芸術活動団体と学校及び市町村との連携・協力体制構築の促進を図る。	文化芸術体験出前講座 実施校数:90校 参加者数:9,124人 ・音楽【54校】 ・伝統文化(茶道・華道)【12校】 ・美術(書・陶芸・絵画)【15校】 ・その他(食文化・能楽)【9校】 オーケストラ公演【3公演】 ・入場者数:908人 ※令和3年度から親子を対象としたオーケストラコンサートを統合 (5ページ参照)	文化芸術体験出前講座 実施校数:107校 ・音楽【70校】 ・伝統文化(茶道・華道)【15校】 ・美術(書・陶芸・絵画)【16校】 ・その他(食文化・能楽)【6校】 オーケストラ公演【1公演】 美術(絵画)【2会場】	小中高校及び特別支援学校での講座に加え、県内文化施設で一般市民向けの講座を実施し受講対象を拡大する。また、昨年度まで文化プログラム事業で実施していた「リボン・アートボール」を美術出前講座の中で実施する。

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
④新人演奏会 (生活文化課) 決算額等(千円) R3 決算:2,000 R4 当初:2,000	本県出身等の新人演奏家に発表の機会を提供して演奏技術の向上を図り、もって地域音楽活動の指導者育成及び本県の音楽文化の振興・向上に資する。	第 47 回茨城県新人演奏会 期日:令和 3 年 6 月 13 日(オーディション) 令和 3 年 9 月 26 日(本演奏会) 場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館大ホール オーディション参加者数:41 名 本演奏会出演者数:16 名 新人賞 2 名、奨励賞 1 名 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、本演奏会を無観客(無料 YouTube ライブ配信有)とした。	第 48 回茨城県新人演奏会 期日:令和 4 年 6 月 19 日(オーディション) 令和 4 年 9 月 18 日(本演奏会) 場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館大ホール オーディション参加者数:33 名	オーディション参加者を増加させること、本演奏会に出演する本県ゆかりの演奏家の活躍を広く県民に発信することを目的として、引き続き積極的な広報活動を行う。
⑤茨城国際音楽アカデミー in かさまコンサート★2 (生活文化課)	笠間市で平成17年から開催され、平成28年度に県が共催として参加することとなった「茨城国際音楽アカデミー in かさま」(旧:かさま国際音楽アカデミー)において、世界的な音楽家等の演奏を、広く県民が鑑賞できる機会を提供する。	(H30 年度で事業終了)	—	—
⑥笠間陶芸大学校 事業 (技術革新課) 決算額等(千円) R3 決算:8,077 R4 当初:8,373	陶芸に関する専門的な知識及び高度で多様な技術等を習得させる。 ・陶芸学科 2 年制、定員 1 学年 12 名 ・研究科 1 年制、定員 3 名 計 27 名	令和 3 年度は陶芸学科 23 名、研究科 3 名の合計 26 名が在学し、特命教授を中心としたカリキュラムや各種広報活動を実施した。 その他、陶芸従事者を対象に、作陶における技術力の向上および課題解決を目的に陶芸技術者専門研修(修了 10 名*重複は除く)を行い、指導を行った。	令和 4 年度は陶芸学科 22 名、研究科 3 名の合計 25 名が在学し、引き続き、特命教授を中心としてカリキュラムの充実を図るとともに、全国から優秀な人材を集めるため、積極的なPRを実施する。 その他、陶芸従事者を対象に、技術力向上・課題解決を目的に陶芸技術者専門研修を実施する。	コロナ禍で縮小していた特命教授の大学校訪問などの PR 活動・入学者募集のためのオープンキャンパス等を積極的に実施する。

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
⑦いばらきの郷土民俗芸能アーカイブス (民俗文化財活性化促進事業) (文化課) 決算額等(千円) R3 決算:— R4 当初:—	県内に伝わる国・県・市町村指定等の無形民俗文化財の映像(民族芸能等)を収集し、YouTube 上で公開することにより、県民の当該文化財に対する理解と認識を深め、保護意識等の高揚を図る。 ※対面型の「茨城県郷土民俗芸能の集い」からオンライン型の「いばらきの郷土民俗芸能アーカイブス」へ変更(R3～)	国及び県指定の無形民俗文化財の映像の収集及び公開 ・対象文化財 35 件 ・収集及び公開文化財 9 件 ※デジタルデータを所有している市町村や団体が少ないことや、コロナ禍で行事等が中止になり新たに映像を収録することも困難であったが、9 件の映像を収集・公開できた。	市町村指定の無形民俗文化財 124 件まで収集対象を拡大する。 ・対象文化財 159 件 ・収集できた映像を YouTube に公開し、郷土民俗芸能の魅力を県民に発信する。	With コロナ時代に即した無形民俗文化財の一つの公開方法として、収集・公開する映像の充実を図りながら、「いばらきの郷土民俗芸能アーカイブス」を展開していく。
⑧子ども伝統文化フェスティバル★3 (生活文化課) 決算額等(千円) R3 決算:— R4 当初:—	伝統文化活動を行う子どもや大人に日頃の練習の成果を発表する機会を提供し、発表する子どもたちの意欲向上、観覧する県民への興味喚起を図る。 ※伝統文化総合支援事業の中で実施 (21 ページ参照)	子ども伝統文化フェスティバル ・開催日:令和 3 年 11 月 14 日(日) ・会場:県立歴史館 ・参加団体数:11 団体 ・来場者数:1,010 人	子ども伝統文化フェスティバル ・開催時期:令和 4 年 9～11 月頃 ・参加団体数:10 団体程度	子どもたちにとっての発表の場を創出するとともに、多くの県民が伝統文化団体の活動に触れる機会を提供する。
⑨食生活改善地区組織育成・強化推進事業 (健康推進課) 決算額等(千円) R3 決算:1,564 R4 当初:1,559	地域における食を通じた健康づくりの取組を推進するため、地区組織育成リーダー研修会を開催する。 協議会が実施する食生活改善活動の企画や連絡調整、組織の充実強化を図るための助成を行う。	地区組織リーダー育成研修会の開催 1 市町村会長等研修会 ・期日:9 月 13 日～10 月 29 日 ・方法:DVD 配布による研修 ・参加者:242 人 2 食生活改善推進員リーダー育成研修会 ・期日:11 月 8 日～翌年 1 月 31 日 ・方法:DVD 配布による研修 ・参加者:358 人	地区組織リーダー育成研修会の開催 1 市町村会長等研修会 ・期日:秋季 ・方法:会場での開催とWebexを用いた研修を併用 2 食生活改善推進員リーダー育成研修会 ・期日:冬季 ・方法:各市町村への視聴覚教材の配布	食生活改善推進員のリーダー育成のため、感染症収束後も会場での開催とオンラインを併用し、対象者が参加しやすい環境を整えていきたいと考えている。

(2) 次世代を担う子どもたちの育成

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
①親子を対象としたオーケストラコンサート★2 (生活文化課) 決算額等(千円) R3 決算 - R4 当初: -	4歳以上の親子を対象に、新人演奏会の優秀者とオーケストラをジョイントしたコンサートを開催することで、感受性豊かな子どもたちに鑑賞機会を提供するとともに、若手演奏家に発表の機会を提供することで、将来の文化芸術を担うアーティストの育成を図る。	鹿嶋勤労文化会館(鹿嶋市)公演 ・令和3年12月11日(入場者数:302名) 大昭ホール龍ヶ崎(龍ヶ崎市)公演 ・令和4年1月16日(入場者数:354名) 取手市民会館(取手市)公演 ・令和4年2月19日(入場者数:252名) ※令和3年度から文化芸術体験出前講座に統合(2ページ参照)	鹿嶋勤労文化会館(鹿嶋市)公演 ・令和4年10月予定	—
②近代美術館美術普及事業 (文化課) 決算額等(千円) R3 決算:30,057 R4 当初:31,216	県民の美術への親しみや関心を深めるため、普及活動を積極的に実施する。	1 アートフォーラムの運営 ・パネル、画材等による展示活動:4回 ・映像、美術図書等による情報提供 <small>※新型コロナウイルス感染症の影響により一部休止</small> ・創作コーナーの設置:3回 2 学校教育連携事業 ・美術館セミナーの開催:3回 3 美術講演・講座等の開催 ・企画展関連美術講演会:3回 ・企画展関連鑑賞講座:3回 ・企画展関連ワークショップ:4回 ・企画展関連育児講座:1回 ・企画展関連おはなし:1回 ・ミュージアムコンサート:2回	1 アートフォーラムの運営 ・パネル、画材等による展示活動:4回 ・映像、美術図書等による情報提供 ・創作コーナーの設置:3回 2 学校教育連携事業 ・美術館セミナーの開催:3回 3 美術講演・講座等の開催 ・企画展関連美術講演会:4回 ・企画展関連鑑賞講座:4回 ・企画展関連ワークショップ:4回 ・ミュージアムコンサート:2回	・タッチパネル式 PC コーナーについては、コロナ禍の状況を見ながら再開を検討する。 ・諸イベントの参加人数について、状況を見ながら通常の状態に戻す(コロナ禍では参加人数を通常の2分の1から3分の1程度に制限してきた)。 ・コロナ禍において開催できなかったギャラリートークについても状況を見ながら再開する。展示解説員による所蔵作品展の作品解説は再開した。(但し、入館者の多い企画展開催時を除く)。 ・オンラインの活用やモバイル機器への情報提供に積極的に取り組むとともに、ベビーキッズ向け事業の本格実施に向け準備を進める。

		<p>4 美術館情報交流ネットワーク事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術館情報交流ネットワーク拠点機能の整備、所蔵品検索システム及びアウトリーチ活動「ハロー！ミュージアム」を通じてのデジタル映像ソフトによる所蔵品紹介、モバイル機器への情報提供等 ・アウトリーチ事業「ハロー！ミュージアム」の実施 :館外 44 日(うちオンラインによる実績 17 日)、館内 21 日 <p>5 協定に基づく茨城大学との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップの受け入れ :コロナ禍のため中止 ・館内授業の実施:3 回 ・館内美術館アカデミー開催:2 回 ・館内でのデッサン:1 回 ・オープンワークショップ:1 回 <p><small>※新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止</small></p> <p>6 高等学校との連携:9 校</p> <p>7 アートカード貸出:5 件</p> <p>8 複製画貸出:27 件</p> <p>9 博物館実習:1 回</p> <p>10 企業パートナーシップ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育普及アートバス事業:23 校 <p><small>※新型コロナウイルス感染症の影響により中止(2 校)</small></p> <p>11 ベビーキッズ鑑賞講座(試行):2 回</p>	<p>4 美術館情報交流ネットワーク事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術館情報交流ネットワーク拠点機能の整備、所蔵品検索システム及びアウトリーチ活動「ハロー！ミュージアム」を通じてのデジタル映像ソフトによる所蔵品紹介、モバイル機器への情報提供等 ・アウトリーチ事業: 「ハロー！ミュージアム」、「オンラインハロー」の実施 <p>5 協定に基づく茨城大学との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップの受け入れ:随時 ・館内授業の実施 :大学 3 回、教職大学院 6 回 ・美術館アカデミー開催:2 回 ・館内でのデッサン:1 回 ・オープンワークショップ:2 回 <p>6 高等学校との連携:9 校</p> <p>7 アートカード貸出:随時</p> <p>8 複製画貸出:随時</p> <p>9 博物館実習:1 回</p> <p>10 企業パートナーシップ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育普及アートバス事業:26 校 <p>11 ベビーキッズ鑑賞講座:10 回</p>	
--	--	--	--	--

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
③天心記念五浦美術館美術普及事業 (文化課) 決算額等(千円) R3 決算:3,647 R4 当初:3,647	県民に美術への親しみや関心を深めるため、多様な普及活動を積極的に実施する。	1 学校教育連携事業 ・日本画トランクの貸出:66 件 ・教師向け日本画実技講座:1 回 2 生涯学習関連事業 ・岡倉天心記念室ガイドツアー <small>※新型コロナウイルス感染症の影響により中止</small> ・記念室音声ガイドのネット配信:随時 ・講演会:1 回 ・作品解説会:9 回 <small>※新型コロナウイルス感染症の影響により 2 回中止</small> ・ミュージアムシアター:9 回 <small>※新型コロナウイルス感染症の影響により 2 回中止</small> ・ミュージアムコンサート:3 回 <small>※新型コロナウイルス感染症の影響により 1 回中止</small> ・リモート・ワークショップ: 2 回 ・アートツアー for kids:3 回 ・日本画講座:4 回 ・七夕イベント:1 回 ・館 HP を介した教材ダウンロード:随時 3 美術情報提供事業講堂の運営 ・「岡倉天心の五浦時代」上映 <small>※新型コロナウイルス感染症の影響により中止</small> ・映像ギャラリーの運営 ・美術情報ライブラリーの運営 4 茨城大学との連携 ・実技講座、講演会 <small>※新型コロナウイルス感染症の影響により中止</small>	1 学校教育連携事業 ・日本画トランクの貸出:随時 ・教師向け日本画実技講座:1 回 2 生涯学習関連事業 ・岡倉天心記念室ガイドツアー: 2 回/1 日 ・記念室音声ガイドネット配信:随時 ・講演会:1 回 ・作品解説会 企画展中 1~2 回 ・ミュージアムシアター:12 回 ・ミュージアムコンサート:3 回 ・ワークショップ:3 回 ・アートツアー for kids:3 回 ・日本画実技講座:2 回 ・七宝焼実技講座:1 回 ・東京美術学校制服試着体験:2 回 ・館 HP を介した教材ダウンロード:随時 3 美術情報提供事業講堂の運営 ・「岡倉天心の五浦時代」上映:随時 ・映像ギャラリーの運営 ・美術情報ライブラリーの運営 4 茨城大学との連携 ・実技講座の開催:1 回 ・講演会:1 回	・感染状況に応じて、開催内容・参加方法を柔軟に変更しながら、できるだけ多くの人に参加いただくとともに、安心感のあるイベント実施を計画する。 ・日本画はもちろんのこと、伝統的美術・技法を体験できる講座やワークショップを計画する。 ・休館中に作成した東京美術学校制服を活用したイベントの実施 ・関連市町村や教育機関等と協働した館外イベントの実施

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
④陶芸美術館美術普及事業 (文化課) 決算額等(千円) R3 決算:5,329 R4 当初:5,351	県民に美術への親しみや関心を深めるため、多様な普及活動を積極的に実施する。	1 学校教育連携事業 ・「かさま発見！スタンプラリー」事業 :8月1日～12月28日(※8/18～9/19まで休館のため中断) ・陶芸ボックス貸出 :6団体、324人利用 ・笠間市小中学校美術展 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ・高校生茶道部交流会 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止 2 美術講演会等の開催 ・美術講演会 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ・ワークショップ:4回、75人参加 ・ギャラリートーク:4回、70人参加 ・夏休み子供向けギャラリートーク ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ・アーティストトーク:2回、52人参加 ・クロストーク:2回、32人参加 ・呈茶会 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	1 学校教育連携事業 ・「かさま発見！スタンプラリー」事業 :7月～8月 ・陶芸ボックスの貸出:随時 ・笠間市小中学校美術展の開催 :11月下旬 ・高校生茶道部交流会 :1月下旬～2月上旬 2 美術講演会等の開催 ・美術講演会:年1回 ・ワークショップ:5回 ・ギャラリートーク:5回 ・夏休み子ども向け展示解説 ・呈茶会:11月	・「新しい生活様式」へ対応しながら、感染対策を行いつつイベントを開催。 ・電子媒体を利用した積極的な広報活動を展開する。

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
⑤自然博物館教育普及事業 (文化課) 決算額等(千円) R3 決算:2,498 R4 当初:3,037	自然講座や野外での自然観察会、野外施設を活用した各種体験教室、博物館資料を遠隔地の学校等で展示・公開する「移動博物館」など体験型の教育普及事業を実施し、自然への興味関心を高めるとともに、博物館活動の理解を深める。	1 自然講座等 ・自然講座:3回 <small>※新型コロナウイルス感染症の影響により5回中止</small> ・大学との連携:4回 ・学芸員によるサイエンストーク:4回 <small>※新型コロナウイルス感染症の影響により5回中止</small> 2 自然観察会等 ・自然観察会:4回 <small>※新型コロナウイルス感染症の影響により5回中止</small> ・学芸員ネイチャーガイド:27回 3 体験教室等 ・サンデーサイエンス:26回 <small>※新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止</small> ・わくわくディスカバリー:4回 4 移動博物館 ・県内の小中学校・特別支援学校6校 <small>※新型コロナウイルス感染症の影響により中止</small> ・社会教育施設:1施設 <small>※新型コロナウイルス感染症の影響により1施設中止</small> 5 ジュニア学芸員育成事業 ・中・高校生が博物館職員の支援のもと各分野のテーマについて学習した。 ・新規ジュニア学芸員認定者数:17人 ・ジュニア学芸員登録者数:31人	1 自然講座等 ・自然ラボ(講座):11回 ・サイエンストーク:6回 2 自然観察会等 ・自然ラボ(観察会):8回 ・ネイチャーガイド:毎土曜日 3 体験教室等 ・サンデーサイエンス in 発見工房:毎 曜日 4 移動博物館 県内の小中学校・特別支援学校:8校 社会教育施設:3会場 5 ジュニア学芸員育成事業 ・ジュニア学芸員養成講座(4月～9月) 実施中:36人 ・ジュニア学芸員登録者数:52人	・現在は募集人数の縮小や検温・除菌、対面型となる参加体験型のイベントの実施制限などの新型コロナウイルス対策を講じている。 ・コロナ禍収束の状況に応じて募集人数を増やし、参加体験型イベントの充実を図る。また、オンライン形式のイベントや講師派遣等も充実させる。

【再掲】

- ・子ども伝統文化フェスティバル(生活文化課)

(3) 文化に関する教育の充実

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
①アートフルステー ジ公演開催 (文化課)	県立特別支援学校の児童生徒を対象に 各種の芸術鑑賞事業を実施し、芸術文 化に対する興味関心を引き出すとともに 豊かな心の育成を図る。	(R2 年度で事業終了) 事業終了にあたり、各校には文化庁が実 施する同様の事業の積極的な活用を推 奨している。	—	—
②高等学校文化活 動推進事業 (文化課)	<ul style="list-style-type: none"> ・第 38 回全国高等学校総合文化祭いば らき総文 2014 を契機に活性化している本 県高等学校文化部への支援を行う。 ・茨城県高等学校文化連盟の部会に外 部指導者を派遣するとともに、成果発表 会を開催。 ・文化部顧問の指導力向上を図るため、 県内外の指導者等による講演会等を実 施。 ・日頃の活動の成果を発表する場を提 供。 ・高校間の文化交流促進のため、複数の 高校文化部による合同練習等を実施。 	(R2 年度で事業終了) 茨城県高等学校文化連盟独自に新規事 業を設定。引き続き高文連と連携し、県 内高校生の文化活動を推進していく。	—	—

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
③茨城県高等学校 総合文化祭開催 (文化課) 決算額等(千円) R3 決算:2,238 R4 当初:2,772	高校生に美術、音楽及び演劇などの芸術文化活動の機会を提供し創造活動の向上を図る。	1 総合開会式 期日:令和3年10月29日 会場:ザ・ヒロサワ・シティ会館 2 美術展 期日:令和3年11月2日～9日 会場:ザ・ヒロサワ・シティ会館ほか 参加校数:215校 入場者数:2,612人 3 音楽会 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 4 演劇 期日:令和3年11月20日～21日 会場:取手市民会館 参加校数:10校 入場者数:207人	1 総合開会式 期日:令和4年10月25日 会場:ザ・ヒロサワ・シティ会館 2 美術展 期日:令和4年11月1日～20日 会場:ザ・ヒロサワ・シティ会館ほか 3 音楽会 期日:令和4年10月14日・11月25日 会場:ひたちなか市文化会館 4 演劇祭 期日:令和4年11月12日～13日 会場:取手市民会館	感染防止対策を講じた上で、引き続き、発表の場を提供することで、学校における文化芸術活動を推進する。
④茨城県小中学校 芸術祭開催 (文化課) 決算額等(千円) R3 決算 1,245 R4 当初:1,245	小中学生の創造性を高め、豊かな情操を培うため、学校教育との連携を図りながら、美術展及び合唱・合奏大会を開催する。	実行委員会を組織し次のとおり実施した。 小・中学校美術展覧会 期日:令和3年11月25日～29日 出品者数:1,496点 入場者 :5,399人 ※令和2年度をもって、小・中学校合唱・合奏大会は廃止。令和3年度より小・中学校美術展覧会のみ実施する。	実行委員会を組織し次のとおり実施する。 小・中学校美術展覧会 期間:令和4年11月25日～29日 会場:ザ・ヒロサワ・シティ会館	感染防止対策を講じた上で、引き続き、発表の場を提供することで、学校における文化芸術活動を推進する。

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
⑤いばらきっ子郷土 検定事業 (生涯学習課) 決算額等(千円) R3 決算:1,744 R4 当初:9,030	中学2年生を対象に茨城県独自の郷土 検定を行い、子どもたちが楽しみながら 本県の伝統や文化を学ぶことにより、子 どもたちの郷土への愛着心や誇りに思っ た気持ちを育む。	1 市町村大会 ・開催期間:令和3年11月 ・参加校数:241校 ・参加者数:22,816人 2 県大会 ・令和4年2月5日に参集型で県大会 を開催予定だったが、新型コロナウイルス 感染症拡大の影響によりオンライン での交流会・特別交流会に変更。 〔交流会〕 ・令和4年2月22日～25日、3月1 日、3月4日(5日間) 〔特別交流会〕 ・令和4年3月15日、16日(2日間) 3 U-22 オンライン大会(一般の部) ・開催期間:令和3年12月11日 ・参加チーム:16チーム ・参加者数:31名	1 市町村大会 ・開催期間:令和4年11月 ・参加校数:約240校 ・参加者数:約22,000人 2 県大会 ・開催日:令和5年2月4日 ・参加予定者数:約660人	1 感染拡大が広がっている場合 ・オンラインによる交流会の実施を検討 2 その他 ・来年度以降1人1台端末(タブレッ ト)を使用した市町村大会を実施予 定。
⑥副読本を活用した 小中学校での地域の 歴史や文化学習 (義務教育課) 決算額等(千円) R2 決算:— R3 当初:—	学習指導要領に基づき、各市町村にお いて、身近な地域の歴史、特色ある伝統 や文化等を取り上げた副読本を作成し、 社会科の授業等で活用している。	小学校3年生、4年生、5年生の授業で 活用 ・44/44 市町村	小学校3年生、4年生、5年生の授業で 活用 ・44/44 市町村	各市町村において、定期的に副読本の 改訂が行われており、身近な地域の歴史 や文化の学習における中心資料として、 社会科の授業等で活用していく。

【再掲】

- ・文化芸術体験出前講座(生活文化課)
- ・近代美術館美術普及事業(文化課)
- ・自然博物館美術普及事業(文化課)

4 事業KPI

(1)「県芸術祭の参加者数」(単位:人) ★1

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	—	34,000	34,000	35,000	35,000
実績値	33,498	33,178	33,924	16,824	17,951
達成率(%)	—	97.6	99.8	48.1	51.3

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・I(1)① 茨城県芸術祭

(2)「関連事業の参加者数」(単位:人) ★2

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	—	18,600	18,600	18,600	18,600
実績値	23,639	21,349	20,842	12,772	14,499
参考値	21,787	19,412	19,820	12,772	14,499
達成率	—	114.8	112.1	68.7	78.0

※参考値は終了事業(茨城国際音楽アカデミーin かさまコンサート・海外オペラ)を除いた数値

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・I(1)② 水戸室内管弦楽団メンバーによる楽器セミナー
- ・I(1)③ 文化芸術体験出前講座
- ・I(1)⑤ 茨城国際音楽アカデミーin かさまコンサート【H30で終了】
- ・I(2)① 親子を対象としたオーケストラコンサート【R3で出前講座に統合】
- ・II(1)② 海外オペラ【R1で終了】
- ・IV(1)⑤ 移動展覧会

5 事業の評価

【期待した成果を下回っている】 (達成率の平均は64.7%であることから、「期待した成果を下回っている」と評価)

新型コロナウイルス感染症の影響により、県芸術祭の26催事中11催事が中止となり、「県芸術祭の参加者数」の達成率は51.3%と前年度よりは増加したものの目標値を下回っている。「関連事業の参加者数」についても、会場の人数制限や事業の一部中止などにより、達成率は78.0%となっており、全体の目標達成度は「期待した成果を下回っている」となったが、感染防止対策を講じたうえで県芸術祭の各催事を実施できるよう、感染防止対策に要する経費を新たに補助することと

したほか、出前講座においては、新たに Web 出前講座(音楽 5 講座)を実施し、移動展覧会においては、ギャラリートークの動画撮影を行い YouTube やいばキラ TV に投稿するなど、コロナ禍においても継続して事業を実施できるよう努めたところである。

6 今後の展開・方向性

感染症対策の徹底により発表機会等を確保するとともに、オンラインによる実施・配信を充実させることや、ハイブリッド形式での開催も取り入れるなどにより、コロナ禍においても県民が文化芸術を鑑賞・体験できる機会を提供し、芸術家等の活動機会の確保と、担い手の育成に努めていく。また、文化芸術は人格や感性を育むものであることから、学校や文化団体等との連携を図りながら、子どもの頃から文化に触れる機会を提供し、その後の鑑賞・体験の習慣化に繋げていく。

II 文化の振興

1 施策の方向

茨城の文化を高め、その魅力を国内外に発信し、本県文化のブランド力を確立する。また、新たな文化を創造し、地域の活性化を図る。

2 課題

文化芸術の振興にあたっては、各文化団体の自主性や創造性を尊重しつつ、優れた創作活動に対して効果的な支援を行っていく必要がある。

また、広く県民に認知されていない伝統文化もあることから、それらの掘り起こしを行いながら、発表の場の提供や魅力発信など、支援の充実を図る必要がある。

3 県の取組状況

(1) 芸術の振興

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
①各文化活動への後援 (生活文化課) 決算額等(千円) R3 決算:- R4 当初:-	県以外の者が主催して行う催事等で文化振興に寄与するものについて、県が後援していることを広く県民に知らせることによって、催事等に信用を付与するとともに文化意識の高揚を図り、文化の振興を促進する。	後援承認件数:116 件	後援承認件数:19 件 (R4 年 5 月末現在)	—
②海外オペラ ★2 (生活文化課)	音楽・演劇・美術・舞踊・文学など複数の要素を同時に合わせ持つ総合舞台芸術である本格的で質の高い海外オペラ公演を低廉な価格で提供することで、県民の文化芸術活動の活性化を図る。また、学生専用席を設けて学生の鑑賞機会を確保する。	(R1 年度で事業終了)	—	—

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
③陶芸美術館資料整備 (文化課) 決算額等(千円) R3 決算:4,125 R4 当初:22,021	人間国宝・文化勲章受章者等の作品をはじめ、日本近現代陶芸の全貌を通観できるよう、優れた美術資料の継続的な購入を進める。	次のとおり美術作品を購入した。 ・工芸 神農 巖 (磁器) ・工芸 久保田 厚子(磁器) ・工芸 川端 健太郎(磁器) ・工芸 今井 完真(陶器) ほか 10 件	収蔵品の充実を図るべく、工芸作品を購入予定。	引き続き、事業計画どおり実施
④近代美術館常設展 (文化課) 決算額等(千円) R3 決算:5,088 R4 当初:4,868	常設展示室において、それぞれ所蔵作品をテーマに応じて展示する。	所蔵作品の中から日本近代美術の秀作を選び、近代美術館で 4 期展示公開した。 1 期 4 月 21 日～6 月 6 日 2 期 前期 6 月 22 日～8 月 1 日 後期 8 月 3 日～9 月 12 日 (※新型コロナウイルス感染症の影響により 8 月 18 日～9 月 19 日まで臨時休館) 3 期 10 月 28 日～11 月 28 日 4 期 前期:2 月 1 日～3 月 13 日 後期:3 月 15 日～4 月 17 日 入館者数 : 53,648 人	所蔵作品の中から近代美術の秀作を選び、近代美術館で 4 期展示する。 1 期 4 月 20 日～6 月 19 日 2 期 前期:6 月 24 日～8 月 7 日 後期:8 月 9 日～9 月 19 日 3 期 10 月 22 日～12 月 18 日 4 期 前期:12 月 24 日～2 月 12 日 後期:2 月 15 日～4 月 9 日	従来の GS ミニガイド、学芸員による対話型ギャラリートークの再開に加え、子供向け鑑賞講座の開催や、モバイル機器の導入。

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
⑤近代美術館企画展 (文化課) 決算額等(千円) R3 決算:38,130 R4 当初:46,565	企画展示室において、企画展を開催する。	次の企画展を開催した。 1 「日本画の 150 年 明治から現代へ」 会期:令和3年4月17日～6月20日 入館者数:6,506 人 2 「いわさきちひろ展」 会期:令和3年7月24日～8月29日 (※新型コロナウイルス感染症の影響により8月18日～臨時休館) 入館者数:8,838 人 3 「上田薫とリアルな絵画」 会期:令和3年10月26日 ～12月12日 入館者数:14,698 人 4 「ランス美術館コレクション 風景画のはじまり コローから印象派へ」 会期:令和4年2月9日～3月27日 入館者数:11,084 人	次の企画展を開催する。 1 「若沖と京の美術 京都 細見コレクションの精華」 会期:令和4年4月23日 ～6月11日 2 「どっちがどっち? いわいとしお×岩井俊雄—100 かいだてのいえとメディアアートの世界—」 会期:令和4年7月2日～9月19日 3 「辻永 ふたつの顔を持つ画家 油彩と植物画」 会期:令和4年10月25日 ～12月11日 4 「戦後日本版画の展開—照沼コレクションを中心に」 会期:令和4年12月24日 ～令和5年2月5日 5 「速水御舟展」 会期:令和5年2月21日～3月26日	多くの入場者を期待できそうな企画展、親子で楽しめる企画展、所蔵品を活用する企画展、作品研究の成果として開催する企画展等、予算のバランスを鑑みつつ、バラエティに富む内容の企画展を計画していく。

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
⑥陶芸美術館常設展 (文化課) 決算額等(千円) R3 決算:4,699 R4 当初:4,704	1 コレクション展 「近現代日本陶芸の展開」をテーマに、明治期から現在までの日本陶芸史を概観できるよう、所蔵品を中心に展示しているほか、板谷波山と松井康成については、特集展示コーナーを設け、紹介する。 2 テーマ展 現在活躍中の陶芸家の作品を中心に様々なテーマを設け、展示紹介する。	【第1展示室】 1 コレクション展・新収蔵品展 会期:令和3年5月11日 ~10月10日 (※新型コロナウイルス感染症の影響により8月18日~9月19日まで臨時休館) 2 コレクション展・桜井貞子と紙布 会期:令和4年1月19日~次年度 【第2展示室】 1 豊かなる茶陶 会期:前年度~令和3年5月9日 2 新収蔵品展 会期:令和3年5月12日~7月18日 3 第20回全国子ども陶芸展inかさま 会期:令和3年7月23日~8月17日 (※新型コロナウイルス感染症の影響により8月18日~臨時休館) 4 新収蔵品展 会期:令和3年9月20日~9月30日 (※電気設備改修のため10月1日~閉鎖) 入館者数:4,496人	【第1展示室】 1 コレクション展Ⅰ・新収蔵品展 会期:令和4年5月18日~9月25日 2 コレクション展Ⅱ 会期:令和4年9月27日 ~令和5年2月5日 3 コレクション展Ⅲ 会期:令和5年2月7日~次年度 【第2展示室】 1 第21回全国子ども陶芸展inかさま 会期:令和4年7月22日~8月31日 2 新収蔵品展(第2会場) 会期:令和4年9月6日~9月14日 3 笠間焼 250年記念 欲しいがみつかる・うつわ展Ⅱ-笠間と益子- 会期:令和4年9月17日 ~12月11日 4 カメラを手にした八木一夫(仮称) 会期:令和4年12月14日 ~3月12日 5 ムーミンの食卓とコンヴィヴィアル 会期:令和5年3月18日~次年度	入室時の手指消毒、検温の継続。 展示解説員によるギャラリートークの実施。

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
⑦陶芸美術館企画展 (文化課) 決算額等(千円) R3 決算:45,119 R4 当初:31,926	企画展示室において、企画展等を開催する。	3 回の企画展等を開催した。 1 「オールドノリタケ×若林コレクション」 会期:令和3年4月17日～6月27日 入館者数:7,894人 2 「土イジリ」 会期:令和3年7月17日～9月26日 (※新型コロナウイルス感染症の影響により8月18日～9月19日まで臨時休館) 入館者数:2,814人 3 「北澤美術館名品展 エミール・ガレとドーム」 会期:令和4年2月5日～5月8日 入館者数:5,834人(3月31日現在)	5 回の企画展等を開催する。 1 「北澤美術館名品展 エミール・ガレとドーム」 会期:令和4年2月5日～5月8日 2 「井上雅之 描くように造る」 会期:令和4年6月11日～8月28日 3 「笠間焼 250 年記念 欲しいがみつかる・うつわ展Ⅱ -笠間と益子-」 会期:令和4年9月17日 ～12月11日 4 「生誕 150 年記念 板谷波山の陶芸」 会期:令和5年1月2日～2月26日 5 「フィンランド・ガラスアート輝きと彩りのモダンデザイン/ムーミンの食卓とコンヴィヴィアル」 会期:令和5年3月18日 ～6月11日	入室時の手指消毒、検温の継続。 触れる展示等の展示方法の導入。
⑧陶芸美術館 20 周年 記念事業費(文化課) 決算額等(千円) R3 決算:26,701 R4 当初:0 【新規追加】	開館 20 周年を契機とし、記念事業(公募展)を実施する。	国内外から目標を超える応募があり、優れた作品による展覧会を実施できた。 「開館 20 周年記念事業 笠間陶芸大賞展」 会期:令和3年10月16日 ～令和4年1月16日 入館者数:9,428人	ー	3 年毎の開催を目指す。

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
⑧フィルムコミッション 推進事業 (観光物産課) 決算額等(千円) R3 決算:12,745 R4 当初:23,851	<ul style="list-style-type: none"> ・ロケ誘致 ・ロケ支援 ・ロケツーリズムの推進 	1 県内撮影支援作品数:344 作品※ 2 県内撮影日数:633 日※ 3 ロケ地マップ Vol.15 の発行 4 ロケ地バスツアーの実施 春:新型コロナにより中止 秋:新型コロナにより中止 5 映像関係事業者と連携した本県 PR 企画の実施 ※R2 年度実績	1 ロケ地マップ Vol.16 の発行 2 ロケ地バスツアーの実施 3 映像関係事業者と連携した本県 PR 企画の実施 本県で撮影した映画の公開に合わせ 対象の市町村と共同でロケ地の展 示・活用を実施	積極的に本県ロケ地を PR し、コロナ前の実績に回復させる。
⑨茨城県魅力映画支 援事業(観光物産課) 決算額等(千円) R3 決算:15 R4 当初:19,182	本県を舞台題材にした作品の誘致	魅力映画支援によるロケ地の聖地化 (1)海外の映像作品誘致に向けた 茨城ロケ地プロモーション ・東京国際映画祭(オンライン)、香港 フィルマート(オンライン)への出展 (2)魅力ある国内外の映像作品の支援 ※新型コロナの影響で未実施	魅力映画支援によるロケ地の聖地化 (1)海外の映像作品誘致に向けた 茨城ロケ地プロモーション (2)魅力ある国内外の映像作品の支援	コロナ禍で R3 年度に実施できなかったロケーションツアー等を行い、魅力ある映像作品の誘致・支援を行う。

【再掲】

・茨城県芸術祭(生活文化課)

(2) 伝統文化の継承及び発展

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
① 伝統文化総合支援事業★3 (生活文化課) 決算額等(千円) R3 決算:8,283 R4 当初:5,500	県内各地で行われている伝統的な行事や民俗芸能などの伝統文化について、その継承等に取り組む伝統文化団体への発表機会の提供や情報発信の支援等を行う。 ※子ども伝統文化フェスティバル (4 ページ参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化団体と催事主催者のマッチング(5 団体) ・伝統文化団体への発表機会の提供(3 団体) ・伝統文化団体の活動成果の情報発信(38 団体) ・子ども伝統文化フェスティバル(11 団体) 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化団体と催事主催者のマッチング(10 団体) ・伝統文化団体と学校のマッチング(10 団体) ・伝統文化団体の後継者募集(10 団体) ・子ども伝統文化フェスティバル(10 団体程度) 	伝統文化団体が抱える「未来の担い手不足」や「発表機会の確保」の課題を解決するため、子どもを対象とした学校での伝統文化体験会を実施する。また、ウェブサイト等を活用し、後継者を募集する。
② 東関東の盆綱総合調査事業(民俗文化財活性化促進事業) (文化課) 決算額等(千円) R3 決算: 2,051 R4 当初: 960	茨城・千葉両県のほか九州北部など、広域にわたって分布する盆行事の一つである「盆綱」の特色や歴史的価値を明らかにし、記録を残すことにより、今後の保存と伝承を図るための基礎的な資料とする。 また、本県の民俗習慣の特性に関する理解と啓発に役立てる。 調査期間は平成 31 年度(2019 年度)から令和 3 年度(2021 年度)まで。	<ol style="list-style-type: none"> 1 調査委員会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・3 回/年(8 月、11 月、3 月) 1 回 小委員会(3 月) ・詳細調査地区の選定 ・現況確認調査地区の選定 ・調査報告書の校正 2 現地調査の実施(8 月 13 日・15 日) <ul style="list-style-type: none"> ・聞き取り調査及び記録保存 3 補足調査 <ul style="list-style-type: none"> ・聞き取り調査及び記録保存 4 調査報告書の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・原稿作成及び校正 <p>※新型コロナの影響により、行事の中止が相次いだため、詳細調査及び現況確認調査の地区数を縮小</p>	調査報告書を刊行する。	調査報告書を、県内の大学及び各市町村の資料館や図書館に配布することで、「東関東の盆綱」の記録を共有し、地域の民族文化財の保存・活用を図る。

【再掲】

- ・いばらきの郷土民俗芸能アーカイブス事業(文化課)
- ・子ども伝統文化フェスティバル(生活文化課)

(3) 生活文化等の振興

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
①「茨城をたべよう」県 産品販売・PR促進事 業★4 (販売流通課) 決算額等(千円) R3 決算:3,500 R4 当初:3,500	県内において進めてきた地産 地消の活動から取組を拡充し、 生産者、事業者、消費者等が 一致協力して県産農林水産物 の利用を促進するとともに、県 産農林水産物の魅力を広く発 信し、県内外における認知度 向上と消費拡大を図ることを目 的とする。 ※「茨城をたべよう運動推進協 議会」は、令和3年度から「いば らき食の魅力発信協議会」へ改 組した。	1 広報・PR ・「いばらき食と農のポータルサイト」を活 用したPR ・SNS を活用し、生産量や産出額が日本 一の農産物の PR を実施 ・県内全小学 5 年生に対し、県内の主要農 産物を紹介したクリアファイルの配布 ・協議会会員と連携した各種イベント等に おけるフラッグ、のぼり等の掲出、ノベル ティグッズの配布 ・県内外の商業施設等で開催するイベント における PR の実施 2 協議会会員相互の連携・交流促進 ・協議会会員相互の連携を目的としたマッ チング事業の実施 3 市町村との連携 ・市町村の食関連イベントの「いばらき食と 農のポータルサイト」への掲載、ノベルテ ィグッズの提供	1 県内外への県産農林水産物のPR ・県内小学 5 年生に対し、主要農産物を紹介 するクリアファイルを配布 ・市町村等が実施する農林水産物関連イベン ト情報の「いばらき食と農のポータルサイト」 への掲載、ノベルティグッズの提供等 ・「いばらき食と農のポータルサイト」やメディア を活用したPR ・「茨城をたべよう」シンボルマーク及びノベ ルティグッズを活用したPR ・協議会会員と連携した各種イベントにおけ る PR 2 協議会会員相互の連携、交流促進 ・情報交換会・県産品試食会の開催 ・協議会会員相互のマッチング 3 新規会員獲得推進 ・「いばらき食と農のポータルサイト」の協議会 ページの充実	協議会会員同士の連携、交流促進(マッ チング)を積極的に図っていき、会員にな ることのメリットを強調していきたいと考えて いる。

【再掲】

・食生活改善地区組織育成・強化推進事業(活動支援・リーダー育成) (健康地域ケア推進課)

(4) 文化を活用した地域づくり

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
①アーカスプロジェクト 推進事業★5 (地域振興課) 決算額等(千円) R3 決算:5,489 R4 当初:5,489	海外からアーティストを招き、滞在中の制作活動を支援する「アーティスト・イン・レジデンスプログラム」や、県民が身近に芸術を体験できる「地域プログラム」などを通じ、芸術を活かした創造性豊かな地域づくりと本県のイメージアップを図る。	1 公募によるアーティスト・イン・レジデンス ※日本国籍アーティスト1組のみ招聘、外国籍アーティスト3組はオンラインで実施。 2 海外のアート団体等との連携プログラム ※オンラインで日本国籍・外国籍アーティストが共同制作 3 連携促進プログラム 勉強会等:3回、参加者数:53人 4 地域プログラム ワークショップ等:5回、参加者数:106人 ※新型コロナの影響による変更。	1 公募によるレジデンスプログラム R3 選定の1組+新規2組を招聘 2 海外のアート団体等との連携プログラム R5の連携に向けて準備 3 連携促進プログラム 大子町(DAIR)との連携 4 地域プログラム ワークショップ等の開催	レジデンスプログラムはオンサイトでの活動を予定しているが、新型コロナの状況によっては、オンラインでの活動も実施できるように柔軟に対応する。
②県北芸術村推進事業 (県北振興局)★6 決算額等(千円) R3 決算: 3,912 R4 当初: - ※県北芸術村推進事業はR2で事業廃止→県北クリエイティブプロジェクト事業に組換	地域づくりの担い手育成を進め、アートを活用した地域主体のまちづくりを促進するとともに、新たなアプローチによる交流人口創出のためのモデル事業に取り組み、地元中心の継続的な地域振興につなげる。	若手芸術家(地域おこし協力隊)による活動 ・採用状況:1名(令和3年9月30日迄) ・自主企画 によるアート作品の制作展示 【期間:令和3年8月27日(金) ～ 9月12日(日) 来場者数:120名】 ・地域交流の拠点を活用した「本棚の日」開催のほか、市民プロジェクトへの参加	(R3年度で事業終了)	—

(5) 文化交流の推進

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
①全国高等学校総合文化祭への活動支援 (文化課) 決算額等(千円) R3 決算:3,000 R4 当初:3,000	高等学校相互の交流を図るとともに、高等学校における合唱や美術工芸等の部活動の振興に資するため、全国高等学校総合文化祭に県代表校を派遣する。	第 45 回全国高等学校総合文化祭に伴い、次のとおり県代表校を派遣した。 ・開催期間:令和 3 年 7 月 31 日～8 月 6 日 ・開催地:和歌山県 ・参加状況:規定 15 部門 延べ 67 校 311 人参加	次のとおり県代表校を派遣する。 ・開催期間:令和 4 年 7 月 31 日～8 月 4 日 ・開催地:東京都 ・派遣部門:総合開会式など 19 部門	引き続き、県代表校の派遣により、高等学校相互の交流や学校における文化芸術活動を推進する。
②国文祭への参加支援 (生活文化課) 決算額等(千円) R3 決算:- R4 当初:-	国文祭開催県から出演者(団体)募集があった際、県内市町村及び文化団体に情報提供するとともに出演者(団体)の推薦を行う。	みやざき 2020 派遣団体(2団体) ※新型コロナの影響により、R3 へ開催延期 ・(一社)日本健康麻将協会茨城支部 ・日本麻雀道連名 わかやま 2021 派遣団体(3団体) ・茨城県かるた協会 ・(一社)日本健康麻将協会茨城支部 ・日本麻雀道連名	おきなわ 2022 派遣団体(内定) ・茨城県かるた協会	情報提供を行い、機運を醸成する。県内の文化団体に、国文祭への積極的な参加を呼びかける。
③語学指導等を行う外国青年招致事業 (国際渉外チーム) 決算額等(千円) R3 決算:10,784 R4 当初:17,940	外国から青年を招致し、学校や自治体に配置することで、外国語教育の充実を図るとともに、地域レベルの国際交流を推進する。	外国青年配置数:65 名(R4.3.31 時点) ※新型コロナの影響により、大半の外国青年の来日が延期 【内訳】 茨城県:48 人(CIR 3 人,ALT 45 人) 市町村:11 人(CIR 3 人,ALT 8 人) 私立学校: 6 人(ALT 6 人)	外国青年配置予定数:79 人 【内訳】 茨城県:63 人(CIR 4 人,ALT 57 人) 市町村:10 人(CIR 2 人,ALT 8 人) 私立学校: 6 人(ALT 6 人)	外国青年の一層の活用を図り、引き続き外国語教育の充実及び地域レベルの国際交流を推進していく。

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
④国際交流協会運営 費補助 ★7 (国際渉外チーム) 決算額等(千円) R3 決算:46,700 R4 当初:49,268	(公財)茨城県国際交流協会 の運営に要する経費の一部 補助を行う。	1 多言語による情報提供(10 言語) 多言語サイトアクセス数:22,402 件 2 外国人相談事業(31 言語(翻訳機器等の対 応言語を含む。)) 相談件数:1,157 件 3 多文化共生サポーターバンクの運営 登録人数:延べ 884 人 4 国際理解の推進 ワールドキャラバン講師派遣回数 50 回	協会が円滑な事業の実施と運営を行い民間 における国際交流推進の中核組織としての 機能を果たせるよう、引続き運営費等を補助 する。	協会が円滑な事業の実施と運営を行い民間 における国際交流推進の中核組織とし ての機能を果たせるよう、運営費等を補助 する。
⑤在南米県人子弟茨 城研修員事業費 (国際渉外チーム) 決算額等(千円) R3 決算: - R4 当初: -	日本語・日本文化の継承、 日伯巫の交流推進を図るた め、本県からブラジル及びア ルゼンチンに移住した者の 子弟(各1名)を本県に約6ヶ 月間受け入れ、日本語研修 及び県内企業・研究機関等 での専門研修を実施する。	(R2 年度で事業終了)	—	—
⑥南米交流推進青年 派遣事業費 (国際渉外チーム) 決算額等(千円) R3 決算: - R4 当初: -	県民と在南米茨城県人会と の交流活性化及びネットワー クの強化、国際社会で活躍 できる将来のグローバルリー ダーの育成を図るため、県内 在住者の青年 2 名を、事前 語学研修の後にブラジルま たはアルゼンチンに 15 日間 派遣する。	(R2 年度で事業終了)	—	—

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
⑦上海事務所事業費 (国際渉外チーム) 決算額等(千円) R3 決算:28,689 R4 当初:42,087	近年拡大している中国の消費市場をターゲットとし、本県の観光需要の掘り起こしや県産品の販路拡大等につなげるため、国際文化交流を推進する。	観光地や特産品、伝統工芸品の PR を実施 ・蘇州ジャパンブランドフェア 2021 年 5 月 15 日、16 日・蘇州市 ・貴州日本酒プロモーション商談会 2021 年 5 月 26 日・貴陽市 ・長沙ジャパンブランドフェア 2021 年 6 月 5 日、6 日・長沙市 ・西安シルクロード国際旅遊博覧会 2021 年 7 月 16 日、18 日・西安市 ・中国西部国際博覧会 2021 年 9 月 16 日、20 日・成都市 ・寧波ジャパンブランドフェア 2021 年 10 月 16 日、17 日・寧波市 ・第 2 回上海ハロウィンパーティ 2021 2021 年 10 月 23 日・上海市 ・青島ジャパンブランドフェア 2021 年 10 月 30 日、31 日・青島市 ・武漢ジャパンブランドフェア 2021 年 11 月 27 日、28 日・武漢市 ・雲南日本商業交流ミニアプリ PR イベント 2021 年 12 月 4 日、5 日・昆明市 ・広州ジャパンブランドフェア 2022 年 2 月 26 日、27 日・広州市 ・天津ジャパンブランドフェア 2022 年 3 月 12 日、13 日・天津市	中国のゼロコロナ政策による上海市のロックダウン等の影響により、例年参加をしていた見本市が中止または延期となっている状況であるが、今後、見本市が再開された際には積極的に出展し、観光地や特産品、伝統工芸品の PR を実施していく。	今後のゼロコロナ政策の動向を注視しながら、例年と同様に、中国全土で開催される見本市に積極的に出展し、本県の観光需要の掘り起こしや県産品の販路拡大等につなげるため、国際文化交流を推進する。

【再掲】

・アーカスプロジェクト推進事業(地域振興課)

4 事業KPI

・関連事業の参加者数(単位:人) ★2

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	—	18,600	18,600	18,600	18,600
実績値	23,639	21,349	20,842	12,772	14,499
参考値	21,787	19,412	19,820	12,772	14,499
達成率	-	114.8	112.1	68.7	78.0

※参考値は終了事業(茨城国際音楽アカデミーin かさまコンサート・海外オペラ)を除いた数値

- 【事業 KPI を構成する関連事業】
- ・ I (1)② 水戸室内管弦楽団メンバーによる器楽セミナー
 - ・ I (1)③ 文化芸術体験出前講座
 - ・ I (1)⑤ 茨城国際音楽アカデミーin かさまコンサート【H30 で終了】
 - ・ I (2)① 親子を対象としたオーケストラコンサート【R3 で出前講座に統合】
 - ・ II (1)② 海外オペラ【R1 で終了】
 - ・ IV (1)⑤ 移動展覧会

・伝統文化団体への発表機会提供 (単位:団体) ★3

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	—	7	15	22	30
実績値	0	8	15	11	19
達成率(%)	—	114.2	100.0	50.0	63.3

- 【事業 KPI を構成する関連事業】
- ・ I (1)⑧ 子ども伝統文化フェスティバル
 - ・ II (2)① 伝統文化総合支援事業

・茨城をたべよう運動の認知度 (単位:%) ★4

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	40	40	40	40	40
実績値	36.4	32.3	35.1	38.4	39.5
達成率(%)	91.0	80.8	87.8	96.0	98.8

- 【事業 KPI を構成する関連事業】
- ・ II (3)①「茨城をたべよう」県産品販売・PR促進事業

・再来日または日本での展示に参加したアーティストの数（単位：人）★5

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	-	53	54	55	60
実績値	52	58	60	62	62
達成率(%)	-	109.4	111.1	112.7	103.3

【事業 KPI を構成する関連事業】

・ II (4) ①アーカスプロジェクト推進事業

・交流型アートプロジェクト参加者数(地域の担い手となり得る人材) (単位：人) ★6

	2017(基準)	2018	2019	2020(目標)
目標値	-	100	150	200
実績値	-	100	171	296
達成率(%)	-	100	114.0	148.0

【事業 KPI を構成する関連事業】

・ II (4) ②県北芸術村推進事業

・多文化共生サポーター新規登録者数(2014年以降の累計値) (単位：人) ★7

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	400	500	600	700	800
実績値	520	668	843	914	983
達成率(%)	130.0	133.6	140.5	130.6	122.9

【事業 KPI を構成する関連事業】

・ II (5) ④国際交流協会運営費補助

5 事業の評価

【概ね期待通りの成果】（達成率の平均は 93.3%であることから、「概ね期待通りの成果」と評価）

「再来日または日本での展示に参加したアーティストの数」、「多文化共生サポーター新規登録者数」については、達成率が引き続き 100%を超え、「茨城を食べよう運動の認知度」は 98.8%と高い達成率になっている。一方、「伝統文化団体への発表機会提供」は、63.3%となっているが、R2 年度中止とした、子ども伝統文化フェスティバルについて、コロナ対策を講じた上で R3 年度は実施したことなどにより、達成率は前年度よりも増加したところであり、全体の目標達成度は「概ね期待通りの成果」となった。

6 今後の展開・方向性

文化施設及び文化施設以外での集客力のある施設において、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しつつ、文化芸術や伝統文化を発表する機会の確保を図ることにより、担い手のやる気向上や県民が文化芸術に触れる機会の確保に繋げていく。また、文化団体や市町村等との連携を図りながら、伝統文化の掘り起こしに取り組みつつ、伝統文化の一層の発信力向上を図っていく。

Ⅲ 文化的資産の活用

1 施策方向

地域の文化的資産を観光・産業振興や地域振興等に積極的に活用する。また、文化財の適切な保護・継承を図る。

2 課題

我が県の長い歴史の中で形成、伝承されてきた数多くの伝統的な文化財の適切な保存を進めていくことはもとより、これらの文化財を公開するなどして、文化財の活用を図っていくことが求められている。

また、良好な県土の景観を保全し、創造していくためには、公共の建築物等の建築に当たり、周囲の自然景観や地域の歴史的及び文化的な特性に配慮する必要がある。

3 県の取組状況

(1) 文化的資産の活用

【再掲】

・フィルムコミッション推進事業(観光物産課)

(2) 文化財の保存等

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
①文化財等整備費補助事業 (文化課) 決算額等(千円) R3 決算:28,180 R4 当初:53,922	国・県指定文化財の管理、修理、防災、保存及び公開等に対して補助を行う。 また、県所有文化財(美術工芸品)の保存修理を行う。	国指定重要文化財である山本家住宅及び県指定文化財である綿引家住宅主屋・倉など計 7 件の所有者に対して補助金を交付し、文化財の保護、整備及び調査を実施した。 また、本県が所有する国指定重要文化財である三味塚古墳出土品の保存修理を実施した。	国指定重要文化財である山本家住宅、薬王院本堂及び県指定文化財である綿引家住宅主屋・倉、穂積家住宅など計 8 件の所有者に対して補助金を交付し、文化財の保護、整備及び調査を実施する。 また、本県が所有する国指定重要文化財である一橋徳川家関係資料の保存修理を実施する予定。	文化財所有者の負担軽減を図り、指定文化財の適切な保護に寄与する。

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
②文化財等災害復旧補助事業 (文化課)	東日本大震災により甚大な被害を受けた指定文化財等の所有者に対し、修理費等の助成を行う。	(R1 年度で事業終了)	—	—
③埋蔵文化財調査 (文化課) 決算額等(千円) R3 決算:19,654 R4 当初:24,903	埋蔵文化財の保存・管理、出土品を活用した展示・公開、体験学習を行うことにより、埋蔵文化財の保護と普及啓発を図る。	・利用者数:2027 名 ・わくわく体験教室参加者数:163 名 (年 6 回実施) ・出前授業:22 件(小中学校 18、他4) ※新型コロナの影響により、わくわく体験教室は 1 回中止。	・わくわく体験教室:2回実施(全7回予定) ・出前授業:5件(小中学校5) (いずれも7月7日現在) ※パンフレット以外に新たに配布資料を作成し、広域に広報活動を実施する。特に教員研修会での広報など、学校教育との連携を強化し利用者数や活用校の増加を図る。	「新たな日常」における郷土の文化発信拠点として、体験活動の動画配信やリモート出前授業などを行える環境整備を進めていく。

【再掲】

- ・東関東の盆綱総合調査事業(民俗文化財活性化促進事業)(文化課)

(3) 公共の建築物の建築に当たっての配慮

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
①景観形成条例施行事務 (都市計画課) 決算額等(千円) R3決算:640 R4当初:2,318	○大規模行為届出に係る審査事務 市町村、建築指導課、県民センター 建築指導課及び特定行政庁と連絡調整を行い、円滑な運用を図る。 ○条例等の運用 公共事業等景観形成指針を運用し、地域の歴史的・文化的特性に配慮した公共の建築物の建築・改修を促す。	大規模行為届出受理件数 92 件	大規模行為届出受理件数 (年度末に集計)	—

4 事業KPI

設定なし

5 事業の評価

事業KPIを設定していないため数値による評価はできないが、国や県指定文化財等を保存・保護していくために必要な補助等の実施や、埋蔵文化財の保護と普及啓発に着実に取り組んでいる。

6 今後の展開・方向性

引き続き、文化財の保存や活用を進めていくことはもとより、文化的資産の再発見・再認識を通して、地域の魅力を引き出し、市町村等とも連携しながら、観光振興や地域振興に活かしていく。

IV 文化活動の充実

1 施策の方向

多くの人々が身近な場所で、様々な文化に触れ親しみ、鑑賞し、参加し、創造することができる環境づくりを図る。

2 課題

青少年や子育て中の保護者、高齢者や障害者、外国人など、より多くの県民が文化についての関心を高め、幅広く文化活動に触れられる機会を提供する必要がある。

3 県の取組状況

(1) 県民の文化活動の充実

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
①茨城県文化振興条例及び計画の周知 (生活文化課) 決算額等(千円) R3 決算:— R4 当初:—	県民がより一層文化についての関心を高め、理解を深めることができるよう文化に対する意識の醸成を図る。	1 茨城県文化振興条例及び計画の進行管理に係る審議会の情報等:県ホームページ掲載等により、周知を図った。 2 文化振興事業等:ホームページ「いばらき文化情報ネット」への掲載等により周知を図った。	引き続き、県ホームページ等において、茨城県文化振興条例及び計画に基づく文化振興事業等の情報発信及び周知を図っていく。	引き続き、県ホームページ等において、茨城県文化振興条例及び計画に基づく文化振興事業等の情報発信及び周知を図っていく。
②いばらき文化振興財団運営費補助 (生活文化課) 決算額等(千円) R3 決算:49,750 R4 当初:51,879	県民の文化振興の担い手として大きな役割を果たしている文化振興財団の育成を図る。	文化振興財団の運営に要する経費を補助。 ・R3 年度実績額:49,750 千円	文化振興財団が県の文化行政の一翼を担う役割を果たしていることから、引き続き、運営に要する経費を補助していく。	文化振興財団が県の文化行政の一翼を担う役割を果たしていることから、引き続き、運営に要する経費を補助していく。

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
③つくば美術館美術普及事業 (文化課) 決算額等(千円) R3 決算:495 R4 当初:495	県民の美術への親しみや 関心を深めるため、多様な 普及活動を積極的に実施 する。	1 講演会、実技講座、図録ライブラリー等の 普及活動 延べ利用者:5,615 人 2 美術講演・講座等の開催 ・土曜講座(美術講座):10 回 ・美術講演会:1 回 ・ワークショップ:2 回 ・ビデオ鑑賞会:9 回 ※新型コロナの影響により、土曜講座 2 回、 ワorkshop 2 回、ビデオ鑑賞会 2 回を 中止	1 講演会、実技講座、図録ライブラリー等 の普及活動 延べ利用者:101 人(R4.5 月末現在) 2 美術講演・講座等の開催 ・土曜講座(美術講座):11 回 ・美術講演会:1 回 ・ワークショップ:4 回 ・ビデオ鑑賞会:11 回	現在の普及活動を継続して実施する。
④現代茨城作家美術展★8 (生活文化課) 決算額等(千円) R3 決算:5,000 R4 当初:-	県民の文化活動の充実を 図るため、本県を代表する 作家の優れた美術作品を 展示することにより、多くの 県民に文化芸術を鑑賞す る機会を提供する。	第 12 回現美展 期間:1 月 8 日～1 月 30 日 場所:県近代美術館 開催部門:日本画、洋画、彫刻、工芸美術、 書、写真、デザイン(7部門 100 点) 入場者数:3,883 人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、 会期中の集客を伴うイベント(出展作家によ るギャラリートーク(毎日予定)・県内高校生 によるギャラリーコンサート(計 6 回予定))は 中止した。	(隔年開催のため実施せず)	より本展が県民に浸透するよう、第 12 回よ り愛称である「現美展」を前面に出して美 術展覧会と協働して広報を実施していく。

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
⑤移動展覧会★2 (生活文化課) 決算額等(千円) R3 決算:6,480 R4 当初:6,753	県内各地で広く県民が優れた美術を鑑賞できる機会を提供するとともに、本県の芸術家の作品発表の場を提供するため、茨城県美術展覧会に属する作家の作品などを展示する移動展覧会を開催する。	1 天心記念五浦美術館 期間:6月12日～6月27日 14日間 入場者数:1,415人 2 つくば美術館 期間:7月6日～7月18日 12日間 入場者数:1,332人 3 陶芸美術館 期間:2月19日～3月6日 14日間 入場者数:1,230人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、天心記念五浦美術館・つくば美術館会場でのギャラリートークを中止した。陶芸美術館会場においてのみ実施し、ギャラリートークの様子を録画編集のうえ YouTube で配信した。	1 陶芸美術館 期間:6月4日～6月19日 14日間 2 つくば美術館 期間:6月28日～7月10日 12日間 3 天心記念五浦美術館 期間:3月1日～3月12日 11日間	引き続き県民が本県芸術家の作品を鑑賞できる機会を提供する本展を継続するとともに、会期中に実施しているギャラリートークについて、会場に来られない方でも楽しむことができる配信形式での実施を行っていく。

【再掲】

- ・茨城県芸術祭(生活文化課)
- ・海外オペラ(生活文化課)
- ・近代美術館美術普及事業(文化課)
- ・天心記念五浦美術館美術普及事業(文化課)
- ・陶芸美術館美術普及事業(文化課)

(2) 高齢者・障害者等の文化活動の充実

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
<p>①高齢者自身の取組み支援事業 (長寿福祉課) 決算額等(千円) R3 決算:7,744 R4 当初:14,869</p>	<p>高齢者が活躍できる社会を目指し、高齢者のスポーツ・健康づくり・地域活動等を推進するため、茨城県健康福祉祭の開催やニュースポーツの推進を行う。</p>	<p>1 ニュースポーツの推進 ・ニュースポーツ推進員養成講習会の開催 参加者:36名 ・ニュースポーツ体験教室の開催 参加者:115名 2 第26回茨城県健康福祉祭の開催 ・いばらきねりんスポーツ(交流)大会実施 ・「わくわく美術展」実施 出品申込数:461点 入場者数:1,295名 ・「ぼく☆わたしのおじいちゃん☆おばあちゃんの絵コンクール」実施 応募総数:861点 ※新型コロナの影響により開催中止となった各種事業 ・いばらきねりんスポーツ(中央)大会 ・全国健康福祉祭(ねりんピック岐阜2021)への選手団派遣</p>	<p>1 ニュースポーツの推進 ・ニュースポーツ推進員養成講習会の開催 2期にわたり開催 50人参加予定 ・ニュースポーツ体験教室の開催 3回開催 150人参加予定 2 全国健康福祉祭(ねりんピックかながわ2022)への選手団派遣 11月開催 150名派遣予定 3 第27回茨城県健康福祉祭の開催 ・いばらきねりんスポーツ交流大会 令和4年4月～令和5年3月 ・いばらきねりんスポーツ中央大会 10月開催予定 ・「わくわく美術展」の実施 ・「ぼく☆わたしのおじいちゃん☆おばあちゃんの絵コンクール」の実施</p>	<p>昨年度に引き続き、オンラインの活用や、よりニーズの高い事業への見直し等について、検討を行っていく。</p>

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
②元気シニア地域貢献事業 (長寿福祉課)★9 決算額等(千円) R3 決算:3,436 R4 当初:3,466	高齢者が培ってきた豊富な知識・経験・技術・ノウハウを地域社会に還元するための人材バンク(元気シニアバンク)を創設し、登録のある高齢者が広く活躍できる場となっている。	1 元気シニアバンク登録累計件数 (R4.3 末時点) 269 件(個人:120 件、団体:149 件) 2 バンク利用状況 ・紹介申込件数:98 件	1 元気シニアバンク登録者数 県民センターおよび各関係機関への広報の実施に加え、新聞広告掲載や老人クラブ研修会における事業の紹介により登録件数の増加を図る。 目標件数 300 件(R5 末) 2 バンク利用状況 市町村放課後児童クラブ担当課や、市町村教育委員会を經由して各学校への広報を実施することにより紹介申込件数の増加を図る。	地域コミュニティの希薄化で、高齢者の閉じこもり増が懸念されることから、地域と高齢者との一層のつながりを生み出し、高齢者の地域貢献を推進する。シニアバンク利用者と高齢者双方にメリットが生まれる場を積極的に提供していく。
③障害者週間推進事業 (障害福祉課) 決算額等(千円) R3 決算:1,038 R4 当初:1,808	障害者による音楽・ダンス・演劇等の発表や美術作品の展示等の文化活動を通じ、障害者と地域社会の交流を深め、障害者の社会参加促進を図る。	ナイスハートふれあいフェスティバル 2021 1 期日:12 月 2 日～12 月 6 日 2 発表会:いばキラ TV にて動画配信 (4 団体) 3 美術展:作品数 328 点(制作者 672 名) ※新型コロナの影響により発表会を中止したが、ダンス等の動画を募集し、いばキラ TV で配信した。	ナイスハートふれあいフェスティバル 2022 1 期日:12 月 1 日～12 月 5 日 2 発表会:12 月 3 日 ・参加者 8 団体 150 名(見込み) 3 美術展:12 月 1 日～5 日 ・作品数 400 点(制作者 600 名) (見込み)	R3 年度は、新型コロナウイルスの感染症の影響で R2 年度に引き続いて発表会を中止した。R4 年度は例年どおり発表会、美術展を実施する予定であるが、状況によっては R2 年度及び R3 年度に準じ、内容を変更して実施する。

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
④ナイスハートふれあいフェスティバル(学校教育の部) (特別支援教育課) 決算額等(千円) R3 決算:619 R4 当初:1,491	特別支援学校、小・中学校等の特別支援学級や通級指導教室に通う幼児児童生徒が日頃の学習成果の発表をとおして学習活動や社会参加への意欲を高めるとともに、特別支援教育に対する県民の理解と認識を深める。	1 美術展 ・期日:12月3日～12月6日 ・作品数:3,774点 ・見学者数:2,178名 ※新型コロナの影響により、学習発表会を中止。発表会への出演予定校のうち、希望する学校については録画した動画を「いばキラ TV」で配信した。	1 発表会 ・期日:12月2日(金) ・出演者数:10団体 200名(見込み) ・見学者数:2,000名(見込み) 2 美術展 ・期日:12月2日～12月5日 ・作品数:4,000点(見込み) ・見学者数:4,000名(見込み)	特別支援学校、小・中学校等の特別支援学級や通級指導教室に通う幼児児童生徒の学習活動や社会参加への意欲を高め、また特別支援教育に対する県民の理解と認識を深めるため、感染症対策を徹底し、発表会と美術展を実施する。

【再掲】

- ・親子を対象としたオーケストラコンサート(生活文化課)

(3) 青少年の文化活動の充実

【再掲】

- ・茨城県小中学校芸術祭開催(文化課)
- ・茨城県高等学校総合文化祭開催(文化課)

4 事業 KPI

・現代茨城作家美術展の入場者数(単位:人) ★8

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	—	—	8,500	—	8,800
実績値	8,286	—	8,276	—	3,883
達成率(%)	—	—	97.4	—	44.1

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・IV④(1) 現代茨城作家美術展

・関連事業の参加者数(単位:人) ★2

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	—	18,600	18,600	18,600	18,600
実績値	23,639	21,349	20,842	12,772	14,499
参考値	21,787	19,412	19,820	12,772	14,499
達成率	—	114.8	112.1	68.7	78.0

※参考値は終了事業(茨城国際音楽アカデミーin かさまコンサート・海外オペラ)を除いた数値

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・I (1)② 高校生のための公開レッスン
- ・I (1)③ 文化芸術体験出前講座
- ・I (1)⑤ 茨城国際音楽アカデミーin かさまコンサート【H30 で終了】
- ・I (2)① 親子を対象としたオーケストラコンサート
- ・II (1)② 海外オペラ【R1 で終了】
- ・IV(1)⑤ 移動展覧会

・元気シニアバンク登録件数 (単位:件) ★9

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	—	213	229	250	300
実績値	213	212	241	292	269
達成率(%)	—	99.5	105.2	116.8	89.7

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・IV(2)② 元気シニア地域貢献事業

5 事業の評価

【期待した成果を下回っている】（達成率の平均は70.6%であることから、「期待した成果を下回っている」と評価）

「現代茨城作家美術展」（現美展）は、新型コロナウイルス感染症の影響により、会期中の集客を伴うイベント（出展作家によるギャラリートークや県内高校生によるギャラリーコンサート）を中止したことなどにより達成率が44.1%と前回よりも大きく減少した。「元気シニアバンク登録件数」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、登録件数・紹介申込件数ともに減少傾向にあり、達成率も89.7%と前年度より減少したところであり、全体の目標達成度は「期待した成果を下回っている」となったが、移動展覧会におけるギャラリートークや、ナイスハートふれあいフェスティバルにおける発表会のオンラインでの配信など、コロナ禍においても発表機会を確保するように努めたところである。

6 今後の展開・方向性

文化施設や学校、芸術系教育機関のほか、高齢者団体、障害者団体、国際交流団体などの多様な主体を所管する関連団体とも連携しながら、感染症対策の徹底により実地で開催することのほか、オンライン及びハイブリッド形式での開催についても実施及び推進していくことにより、高齢者や障害者、青少年など、県民誰もが一人ひとりが幅広く文化芸術活動を身近に感じ、触れ、親しむ機会を提供していく。

V 文化活動の支援体制の充実等

1 施策の方向

多様な主体と連携し、文化振興施策の総合的な推進を図る。また、文化情報の効果的な発信や文化施設の機能の充実、地域の文化活動の支援等を図る。

2 課題

県から発信する情報がより多くの県民等に届くよう発信方法を工夫する必要がある。

文化施設については、適切な維持・保全を基本とし、老朽化対策を進めながら、文化情報発信の拠点としての機能を高めていく必要がある。

また、文化や芸術の専門家や市町村の意見を踏まえながら、文化団体等への適切な支援を行っていく必要がある。

3 県の取組状況

(1) 文化情報の収集及び提供

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
①県政情報紙発行費(「ひばり」)(営業企画課)★10 決算額等(千円) R3 決算:136,419 R4 当初:143,270	県政に対する理解を深め、協力していただけるよう、県政の重要課題に対する県の考え方や施策に関する情報、県民の利便性を高める生活・地域情報等を掲載した県広報紙「ひばり」を作成、配布する。	12 回/年 A4判全頁カラー印刷 940,000 部/回(5 月号～10 月号) 900,000 部/回(11 月号～4 月号) ※Twitter、LINE等の SNS でも配信	12 回/年 A4判全頁カラー印刷 870,000 部/回 ※Twitter、LINE等の SNS でも配信	引き続き、紙媒体や SNS 等を通じ、県政情報の発信を行っていく。
②ラジオ広報(県だより等) (営業企画課)★10 決算額等(千円) R3 決算:30,788 R4 当初:29,962	茨城県全域をほぼカバーする民放ラジオ局茨城放送を媒体とし、県民の県政に対する理解を深めるため、県政の諸施策や催事案内について繰り返し情報提供する。 ※県内コミュニティFM7局でも放送	「ラジオ県だより」(5 分間) 771 回/年 「県政スポット」(20 秒CM) 771 回/年 「県政レポート」(10 分間) 10 回/年 ※上記回数は文化情報以外も含む。	「ラジオ県だより」(5 分間) 771 回/年 「県政スポット」(20 秒CM) 771 回/年 「県政レポート」(10 分間) 10 回/年 ※上記回数は文化情報以外も含む。	引き続き、ラジオを活用し、県政情報の発信を行っていく。

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
③政策広報(新聞広報等) (営業企画課)★10 決算額等(千円) R3 決算:43,685 R4 当初:44,151	緊急または広く県民に周知を必要とする事項について、新聞に掲載を行うとともに、県内のケーブルテレビやコミュニティFM局を活用して、県民に身近な事業・施策等を紹介する番組を制作・放送する。	・「茨城県からのお知らせ」 掲載紙:中央紙6紙及び茨城新聞 9回/年 ・ケーブルテレビ(CATV・10分間) 放送局:県内ケーブルテレビ5社6局 8テーマ/年、毎週土・日放送 ※上記回数は文化情報以外も含む。	・新聞広告「茨城県からのお知らせ」 掲載紙:中央紙6紙及び茨城新聞 8回/年 ・ケーブルテレビ(CATV・10分間) 放送局:県内ケーブルテレビ5社6局 8テーマ/年、毎週土・日放送 ※上記回数は文化情報以外も含む。	引き続き、新聞やケーブルテレビを活用し、県政情報の発信を行っていく。
④県政キャンペーン広報 (営業企画課)★10 決算額等(千円) R3 決算:2,288 R4 当初:1,892	県政の重要広報事項について、広く県民に周知するため、地域に密着した地方紙の紙面を利用して、テーマ別のキャンペーンを新聞に掲載する。	・「県政の焦点」シリーズ 茨城新聞:全2段×14回 ・「県政キャンペーン」 茨城新聞:全8段×3回 計全52段 ※上記回数は文化情報以外も含む。	・「県政の焦点」シリーズ 茨城新聞:全2段×14回 ・「県政キャンペーン」 茨城新聞:全5段×3回 計全43段 ※上記回数は文化情報以外も含む。	引き続き、新聞を活用し、県政情報の発信を行っていく。
⑤インターネット情報発信事業 (営業企画課)★10 決算額等(千円) R3 決算:5,104 R4 当初:5,896	県民生活に必要な県政情報、各種事業・施策などの情報について、県ホームページやSNSで速やかに情報発信を行う。	県政ホットニュース、イベント、募集・採用情報、その他のお知らせ、報道発表事項などを掲載 ＜アクセス件数(年間)＞ トップページ:20,189,404件 サイト全体 :201,245,942件	県政ホットニュース、イベント、募集・採用情報、その他のお知らせ、報道発表事項などを掲載	引き続き、インターネットを活用し、県政情報の発信を行っていく。
⑥いばらきインターネットテレビ事業(いばキラTV)★10 (プロモーションチーム) 決算額等(千円) R3 決算:130,184 R4 当初:141,370	若年層を主なターゲットとして、本県の魅力などを紹介する動画を制作し、インターネット上で国内外に広く発信する。	オンデマンド動画制作:463本 年間視聴回数:42,210,893回	オンデマンド動画の制作(405本/年)	引き続き本県の魅力発信を実施することで、観光誘客や県産品の販売促進を図る。

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
⑦メディア訪問強化事業★ 11 (プロモーションチーム) 決算額等(千円) R3 決算:3,659 R4 当初:5,650	本県への観光誘客、県産品の販売促進を図るため、テレビや新聞等のメディアに対して効率的・効果的なパブリシティ活動を実施。	報道件数:170件 うちTV:38件	県職員によるテレビやラジオ、新聞、Webメディア等の首都圏メディアへの効率的・効果的なパブリシティ活動を行う。	コロナ禍でメディアへの対面でのPRが難しい中でも、動画提供等によるメディア露出の獲得や、電話によるメディアコンタクトにより、リレーションの構築に努めており、アフターコロナを見据えて、引き続き県の観光情報等を発信していく。
⑧メディア活用魅力発信強化事業★11 (プロモーションチーム) 決算額等(千円) R3 決算:12,439 R4 当初:32,837	首都圏や茨城空港就航先などのテレビ等のメディアを活用して茨城の観光地や特産品などの情報を発信する。	1 茨城空港就航先等 ・茨城空港就航先である神戸・札幌エリア所在メディアを中心としたタイアップ事業の実施 ・タイアップ件数:7件 うちTV:5件	1 首都圏メディア【新】 ・農林水産物の重点品目(恵水、常陸の輝き、栗、常陸牛、イバラキング)や旬の観光スポットなど特に話題化を図りたいコンテンツについて、在京キー局を中心に情報提供・制作協力等を行うことで、テレビ番組での露出を図る。 2 茨城空港就航先等【継続】 ・茨城空港就航先である神戸・札幌・福岡・沖縄エリアなどのメディアへの情報提供・制作協力を実施することにより、テレビを中心とする各種メディアでの露出を図る。	コロナ禍でメディアへの対面でのPRが難しい中でも、各メディアへの情報提供・制作協力等の働きかけを行い、アフターコロナを見据えて、引き続き県の観光情報や農林水産物等の魅力を発信していく。

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
⑨パブリシティ活動強化事業★11 (プロモーションチーム) 決算額等(千円) R3 決算:53,371 R4 当初:53,896	ノウハウと実績のある広告代理店を活用し、各種メディアの番組制作やテーマ設定に関わるメディア関係者との関係を構築するとともに、ニュースリリース等を行い。各種メディアへの効率的・効果的なパブリシティ活動を展開する。	広告代理店に委託し、パブリシティ素材の整理収集、対メディア戦略の立案、プレスリリース等を実施した。 報道件数:1,413 件(うちTV:98 件) 広告換算額:約 134 億円 メディアコンタクト数:523 件 取材誘致件数:57 件	広告代理店に委託し、パブリシティ素材の整理収集、対メディア戦略の立案、プレスリリース等を実施。	コロナ禍でメディアへの対面でのPRが難しい中でも、県産品の提供や、電話によるメディアコンタクトにより、リレーションの構築に努めており、アフターコロナを見据えて、引き続き県の観光情報等を発信していく。
⑩いばらき文化情報ネット整備事業 (生活文化課) 決算額等(千円) R3 決算:271 R4 当初:484	市町村や県内文化施設と連携し、県内各地の音楽・演劇・伝統芸能・美術・祭り等の文化催事情報等をホームページ上で公開し、県民のニーズの多様化に対応したリアルタイムの情報提供を行う。	1 掲載内容 文化イベント情報、文化施設、文化活動団体、文化芸術活動への助成情報、県や国の取組、常陸国風土記、いばらきの伝統文化、茨城の先人たち、beyond2020 プログラム認証事業 等 2 主な更新内容 文化イベント情報:65 件 3 アクセス件数 ページビュー数:287,928 セッション数:107,234	1 掲載内容 文化イベント情報、文化施設、文化活動団体、文化芸術活動への助成情報、県や国の取組、常陸国風土記、いばらきの伝統文化、茨城の先人たち 等 2 主な更新内容(R4.5 月末現在) 文化イベント情報:12 件 3 アクセス件数(R4.5 月末現在) ページビュー数:17,136 セッション数:8,602	「いばらきの伝統文化」ページに掲載している動画をスマートフォンでも閲覧できるように改良するなどして、見やすく使いやすいホームページを目指している。より一層活用されるよう、コンテンツを充実させてゆく。茨城の文化や郷土の魅力を伝える記事を掲載する。

(2) 推進体制の整備

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
①文化審議会開催費 (生活文化課) 決算額等(千円) R3 決算:662 R4 当初:878	茨城県文化振興条例に規定する事項等文化振興に関し必要と認める事項について調査・審議する。	文化審議会の開催 ・年4回開催 ・議題:茨城県文化振興計画に基づく取組 状況報告 文化センターの課題 等	文化振興計画を推進するため、文化振興施策の実績等を文化審議会に報告し、事業の評価を行うとともに、今後の施策展開の参考とするため意見交換を行う。 ・年3回開催予定	—
②文化行政推進費(文化団体育成補助金) (生活文化課) 決算額等(千円) R3 決算:3,759 R4 当初:4,224	県域文化活動団体が実施する講習会や研修事業等の経費を助成し、組織の強化と活性化を図る。	文化団体育成補助 ・茨城県文化団体連合 3,535 千円※ ・茨城県ユネスコ連絡協議会 224 千円 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、補助事業が一部中止となったため、当初の 3,752 千円から減額。	文化団体育成補助 ・茨城県文化団体連合 4,000 千円 ・茨城県ユネスコ連絡協議会 224 千円	引き続き県域で活動する文化団体に対し公演等文化事業に要する経費を補助し、アフターコロナにおいても活動が継続できるよう努める。

【再掲】

・いばらき文化振興財団運営費補助(生活文化課)

(3) 文化施設の機能の充実

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
①県民文化センター施設整備 (生活文化課)★12 決算額等(千円) R3 決算:69,905 現年:18,183 繰越:51,722 R4 当初:115,886	老朽化した施設・設備の改修や、コロナ対策等施設の利便性の向上等に資する工事を行う。	次のとおり工事を行った。 ・空調設備フィルター更新工事 ・大ホール舞台床改修工事 ・大ホールワイヤレスインカム改修工事 ・ボイラー煙突及び煙道改修工事 ・チケット販売レジ改修工事 ・トイレ改修工事 ・客席等抗菌化コーティング業務委託 等	次のとおり工事を行っているところ。 ・大ホール棟外壁改修工事 ・分館屋上防水改修工事 また、備品(小ホール舞台幕他、LED パーライト、大ホール他カーペット、電子黒板)の購入を予定している。	県民文化センターは開館から50年以上が経過し、様々な設備の老朽化が進行していることから、必要な備品整備や施設改修等について優先順位を付け、計画的に進める必要がある。

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
②県民文化センター管理委託 (生活文化課)★12 決算額等(千円) R3 決算:203,139 R4 当初:193,426	県民の文化芸術活動を支える拠点施設として、本県の文化芸術の振興と県民教養の高揚を推進している。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数:237,272 人 ・参加創造事業:いばらき応援コンサート等 9 事業 入場者数 1,337 人 ・鑑賞事業:フジコ・ヘミング ピアノリサイタル等 14 事業 入場者数 14,802 人 ・備品購入:大ホール舞台幕など ・修繕工事:食堂改修工事など 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加創造事業: いばらき民話ミュージカル等 7 事業 ・鑑賞事業: 小林愛実ピアノリサイタル等 20 事業 ・備品購入:小ホール舞台幕など ・修繕工事: 大ホール客席床下壁補修工事など 等 	<p>県民文化センターは開館から 50 年以上が経過し、老朽化しているとともに、R5 年 7 月開館予定の水戸市民会館との役割分担の明確化などが課題となっており、今後検討を進めていく必要がある。</p> <p>また、コロナ禍で落ち込んでいる県民文化センター利用者数を回復させることができるよう利用促進に努めていく。</p>
③県民文化センターコンベンション機能強化事業費★12 (生活文化課)	県民の文化芸術活動を支える拠点施設である県民文化センターのコンベンション機能を強化し、国際会議及び国内会議を誘致することにより、同センターの利用率の向上や地域の活性化を図る。	(R2 年度で事業終了)	—	—
④アクアワールド茨城県大洗水族館施設整備★13 (生活文化課) 決算額等(千円) R3 決算:180,344 現年: 41,582 繰越: 138,762 R4 当初:576,932	老朽化した施設・設備の改修や、コロナ対策等施設の利便性の向上等に資する工事を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・外壁塗装改修工事(第 2 期) ・館内空調更新工事 ・非常照明設備更新工事 ・空調用熱源機器等改修子髄 ・売店レジ等改修工事 ・ライブ映像配信システム整備工事 ・非接触型入場ゲート整備工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・外壁塗装改修工事(第3期) ・受変電設備(VCB)更新工事 ・UPS 等蓄電池更新工事 ・館内照明設備更新工事 ・屋内・屋外展示水槽改修工事 ・遊具設備改修工事 	施設の長寿命化を図り将来負担を軽減するとともに、さらなる魅力の向上により誘客促進につながるような施設改修等を進める。

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
⑤アクアワールド茨城県大洗水族館 20 周年記念事業★13 (生活文化課) 決算額等(千円) R3 決算:75,000,000 現年: - 繰越:75,000,000	令和 4 年 3 月 21 日に開館 20 周年を迎える令和3年度において、年間を通じて実施する記念事業に対する運営費補助。	次のとおり事業を行った。 ・第 1 弾「IWASHI LIFE(イワシ ライフ)」 ・第 2 弾「SUMMER AQUAWORLD(サマーアクアワールド)2021」 ・第 3 弾「超 サメ展 The Mystery of Sharks(サミステリーオブシャークス)」 ・第 4 弾「新オーシャンナイトライブ～雪月花(せつげっか)～」 ・第 5 弾「ワンピース BIG WASH 島の大冒険！ IN アクアワールド・大洗」	(R3 年度で事業終了)	—
⑥文化施設整備 (文化課) 決算額等(千円) R3 決算:423,367 R4 当初:359,697	美術館・博物館の施設を安全かつ良好な環境に保つため必要な修繕等を実施する。	・近代美術館照明設備更新工事 ・五浦美術館照明設備改修工事 ・自然博物館展示室系空調設備改修工事 ・陶芸美術館屋上防止改修工事	・近代美術館照明制御システム改修工事 ・近代美術館防火戸改修工事 ・五浦美術館照明設備更新工事 ・自然博物館空調改修工事 等	老朽化した施設の改修等を随時行い、適切な施設管理に努めていく。
⑦近代美術館資料整備 (文化課) 決算額等(千円) R3 当初:23,961 R4 当初:8,983	優れた美術作品を収集するとともに、所蔵品の修復・保存等を行う。	・購入・寄贈および管理換により 35 点の作品を新たに収蔵。 ・所蔵品の修復、燻蒸を行った。 ・展示室・収蔵庫等の環境調査を行い、作品保全に適した環境維持に努めた。	・購入および寄贈、管理換による作品収蔵。 ・所蔵品の修復:3～6 点(予定) ・作品燻蒸:年 1 回 展示室・収蔵庫等の環境調査:通年 ・作品保全に適した環境維持:通年	作品の収集活動や、修復・燻蒸等による作品保全等を、今後も継続して行っていく。

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
⑧天心記念五浦美術館展示 事業 (文化課) 決算額等(千円) R3 決算:25,179 R4 当初:34,300	岡倉天心記念室 岡倉天心の業績を遺品、 書簡、写真パネルによって 紹介するとともに、大観ら五 浦の作家たちの作品や資 料を紹介 ・企画展の開催	1 所蔵作品展の開催 所蔵作品の中から五浦の作家たちの日 本画を中心に6期に分けて展示 入館者数:1,487人 2 企画展の開催 ・「現代院展のあゆみ 天心記念茨城賞 受賞作品を中心に」 会期:令和3年4月24日～6月6日 入館者数:5,434人 ・「筑波大学 日本画40年の軌跡」 会期:6月12日～7月18日 入館者数:3,369人 ・「ひろがる墨一五彩に出会う」 会期:7月28日～9月26日 入館者数:2,811人 ・「美一響く一 コレクション名品選」 会期:10月3日～11月23日 入館者数:6,583人 ・「いにしえを描く」 会期:12月4日～令和4年2月6日 入館者数:5,904人 ・「おいでよ!花鳥画の世界」 会期:2月11日～4月17日 入館者数:4,543人	1 所蔵作品展の開催 所蔵作品の中から五浦の作家たちの日 本画を中心に6期に分けて展示 2 企画展の開催 ・「箱根・芦ノ湖 成川美術館コレクション 花愛でるところ、恋の詩とともに」 会期:令和4年4月27日～6月26日 ・「並河靖之の雅な技 世界を魅了した 明治の京都七宝」 会期:7月9日～9月25日 ・「再興院展の立役者 斎藤隆三」 会期:10月8日～11月27日 ・「のぞいてみよう!!東京美術学校課題画 展」 会期:12月10日～令和5年2月5日 ・「旅するチバラキ～連作《水郷めぐり》の 全貌」 会期:2月10日～4月23日	・天心記念室において、レプリカ中心の資 料展示からオリジナルの比率を高め、内容 の充実を図る。 ・隣県報道機関への広報活動の充実と県 外来館者の誘致。 ・ドローン映像により美術館周辺の景観を アピールすることで、北茨城市や近隣観光 施設等との連携による観光客の誘致。 ・日本画を中心にしつつも、異なるジャン ルの日本美術の紹介を行い、幅広い層へ 訴えていく。 ・明治から昭和にかけて活躍した日本画家 に加え、平成以降に活躍する日本画家を 取り上げ、現在進行形の美術を紹介して いく。

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
⑨自然博物館常設展 (文化課) 決算額等(千円) R3 決算:22,511 R4 当初:22,858	「進化する宇宙」など5つのテーマにより常設展を開催する。	「進化する宇宙」など5つのテーマによる常設展の適切な開催を行うため、常設展示保守点検、修繕、照明のLED化、展示更新設計等を行った。 ・常設展示保守点検、動刻設備メンテナンス ・展示室照明点検 ・第2展示室「哺乳類の進化」展示更新 ・第3展示室ダイオウイカ展示更新 ・ティラノサウルス産状レプリカの追加展示 ・展示機器スイッチ等の非接触型展示への変更 ・ポケット学芸員外国語コンテンツ追加 ・第2展示室における照明のLED化 ・ディスカバリープレイス照明のLED交換 ・「学芸員からこんにちは」、「茨城の自然インフォメーション」、「トピックスコーナー」の定期的な小規模更新 ・第2展示室メディアプレイヤー、タイムトンネル床下照明、ゾウの進化ケース内照明修繕 ・第3展示室ブナの葉でつくる日本列島パネル修繕 ・第3展示室水槽修繕 ・第4展示室壁クロス修繕	今後も魅力ある博物館であるため、常設展の展示において以下のような計画を立て、実施する。 ・常設展示保守点検、動刻設備メンテナンス ・展示室照明点検 ・第2展示室「鉱物の世界」コーナー展示更新 ・松花江マンモス骨格展示の点検及び補修 ・液浸標本関連展示の更新と安全処置 ・「学芸員からこんにちは」、「茨城の自然インフォメーション」、「トピックスコーナー」の定期的な小規模更新 ・常設展示の部分展示更新 ・常設展示の展示機器及び植物レプリカ修繕	安全性に配慮した部分改修を実施する。 現在利用を停止している偏光顕微鏡やフィールドスコープ等について、新たな展示を検討する。展示室ごとに展示計画を検討・作成する。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ヌオエロサウルス骨格展示安全点検 ・テングギンザメ液浸水槽製作 ・ディスカバリープレイス走査型電子顕微鏡モニター修繕 ・映像ホールワイヤレスマイク機器交換 		
<p>⑩自然博物館企画展 (文化課)</p> <p>決算額等(千円)</p> <p>R3 決算:72,182</p> <p>R4 当初:82,897</p>	4回の企画展を開催する。	<p>1 「化石研究所へようこそ！-古生物学のすすめ-」</p> <p>期間:令和3年2月27日～6月13日</p> <p>入館者数:68,370人</p> <p>2 「毒をもつ生きものたち-生き残りをかけた大作戦！-」</p> <p>期間:令和3年7月10日～9月20日</p> <p>入館者数:35,844人</p> <p>3 「こけティッシュ苔ニューワールド！-地球を包むミクロの森-」</p> <p>期間:令和3年10月16日～令和4年2月6日</p> <p>入館者数:116,813人</p> <p>4 「ミュージアムパークコレクション-コレなに？コレみて！自然の宝、大公開！-」</p> <p>期間:令和4年2月26日～6月12日</p> <p>入館者数:24,179人</p>	<p>1 「ミュージアムパークコレクション-コレなに？コレみて！自然の宝、大公開！-」</p> <p>期間:令和4年2月26日～6月12日</p> <p>2 「昆虫展-みんな集まれ！日本のむし・世界のむし！-」</p> <p>期間:令和4年7月9日～9月19日</p> <p>3 「ときめく石-色と形が奏でる世界-」</p> <p>期間:令和4年10月15日～令和5年1月29日</p> <p>4 「いのちの色-世界をいろどる生きものたち-」</p> <p>期間:令和5年2月18日～6月11日</p>	多くの入場者が期待できそうな企画展、親子で楽しめる企画展、所蔵品を活用した企画展、調査研究の成果を発表する企画展等、予算のバランスを鑑みつつ、バラエティに富む内容の企画展を計画していく。

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
⑪自然博物館資料整備 (文化課) 決算額等(千円) R3 決算:1,833 R4 当初:6,052	動物、植物、地学分野の展示用又は研究用資料の購入による収集と、調査研究活動や寄贈資料受け入れによる収集によって博物館資料の充実を図る。	合計 7,889 点の資料を収集した。 ・購入・製作資料:112 点 ・採集資料:6,649 点 ・寄贈資料:1,128 点	県内の自然についての資料の収集を行う。	新型コロナ感染に留意しながら、資料収集を実施する。なお、資料の採集については、感染リスクを下げるための最大限の注意を払い、可能な範囲で行う。
⑫自然博物館学術調査研究 (文化課) 決算額等(千円) R3 決算:3,721 R4 当初:4,313	1 総合調査研究 茨城県の生物相やその変遷、地質等の地学的特性を把握するため、自然史資料の集積を図り、茨城県内の資料の目録をつくることを目的とする調査活動。 2 重点研究 茨城県の自然史や当館の博物館活動に関する重要な課題や今日的な課題をテーマとし、グループで行う調査研究活動 3 創造的調査研究 博物館職員の資質の向上と博物館活動の発展、さらに自然科学の向上発展に寄与することを目的として、職員各自の専門性や業務	1 総合調査 令和3年度は、第Ⅲ期第2次総合調査1年目として、3つの団体に委託し、そこに当館の職員が加わって調査を実施した。茨城県の生物相やその変遷、地質などの地学的特性を把握するための資料収集と目録作りを行った。 2 重点研究 以下のテーマで各種機関と連携して実施 ・野生動物における付着散布植物の付着実態に関する研究 ・菅生沼周辺におけるクリハラリスの分布把握と効果的な防除方法の検討 ・さるまい自然公園調査 ・特定外来生物オオバナミズキンバイの防除 ・県内ブナ調査 ・筑波山地域の地質と地形、ジオパーク活動について	1 総合調査 今年度は、第Ⅲ期第2次総合調査の2年目にあたる。調査は、3つの調査会を設けて外部有識者に委託し、そこに当館の職員が加わって進めている。調査地は県内全域を対象とし、未調査の場所や収集が不十分な分野の資料を中心に調査を実施している。また、第Ⅲ期の前半の終了に伴い、3年間の資料収集の成果について整理及び検討を行う。 2 重点研究 以下のテーマで各種機関と連携して実施 ・県内で駆除されたアライグマを用いた食性解析 ・県内ブナ林における哺乳類調査 ・湿地の植生の保全 ・特定外来生物オオバナミズキンバイ防除 ・県内ブナ調査 ・筑波山地域の地質と地形について	コロナ感染に留意しながら、調査研究を実施する。なお、外部団体に委託している総合調査については、実施にあたり十分注意をする必要がある。当面の間は、各分野委託団体の代表者へ以下の留意事項を周知した上で実施する。 <新型コロナ感染拡大防止期間中の総合調査実施に関わる留意事項> ○ 各調査会の判断で感染リスクがあると判断される場合には調査を行わない。 ○ 複数の調査員が集合しての調査、不特定多数の人が集まる地区での調査は行わない。 ○ 調査を実施する際には感染リスクを下げるための最大限の注意を払い、可能な範囲で行う。

	内容に関連したテーマに基づき行う調査研究活動	<p>・那珂湊層群および双葉層群の化石から復元される後期白亜紀における北西太平洋域の生態系</p> <p>3 創造的調査研究</p> <p>学芸員の専門性を生かした調査研究を外部資金等も活用しながら進めた。学芸系職員の資質向上と情報共有を図るため、館内での学芸研究発表会 12月と3月に実施した。</p>	<p>・那珂湊層群および双葉層群の化石から復元される後期白亜紀における北西太平洋域の生態系</p> <p>3 創造的調査研究</p> <p>学芸員の専門性を生かした調査研究を外部資金等も活用しながら進めている。学芸系職員の資質向上と情報共有を図るため、館内での学芸研究発表会を継続して実施する。</p>	
<p>⑬歴史館普及事業 (文化課) 決算額等(千円) R3決算:9,195 R4当初:9,855</p>	<p>各種講座や教室、展覧会での展示解説などの普及事業を実施し、歴史に親しんでもらうとともに、利用促進を図る。</p>	<p>1 館内普及活動</p> <p>常設展展示解説:2,675人 特別展等展示解説:4,703人 講演会:321人 付属施設活用事業:150人 各種講座・教室:1,054人 歴史館に親しむイベント:546人 学校教育との連携事業:3,898人 郷土学習支援事業:1,671人 いちようまつり:28,232人</p> <p>2 館外普及活動</p> <p>学校教育との連携事業:1,138人 郷土学習支援事業:2,108人 その他:88人</p> <p>※新型コロナの影響により、講演会2回、各種講座4回、歴史館に親しむイベント4回を中止。</p>	<p>1 館内普及活動(人数は R4.5.31 現在)</p> <p>常設展展示解説:149人 特別展等展示解説:30人 講演会:91人 付属施設活用事業:95人 各種講座・教室:76人 歴史館に親しむイベント:53人 学校教育との連携事業:844人 郷土学習支援事業:82人 いちようまつり</p> <p>2 館外普及活動(人数は R4.5.31 現在)</p> <p>学校教育との連携事業:52人 郷土学習支援事業:41人 その他:110人</p>	<p>来館できない事情の方にも応えられるよう、展示内容の紹介や歴史館まつり等のイベント内容について動画を配信するほか、展示に関するミニ知識をツイッターで随時紹介する等、SNSを積極的かつ効果的に活用した情報発信を行っていく。</p>

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
<p>⑭歴史館展示事業 (文化課) 決算額等(千円) R3決算:40,473 R4当初:37,350</p>	<p>・「茨城の歴史をさぐる」をテーマに、茨城の原始古代から近現代までの歴史を概観できる常設展示を開催する。 ・特別展、企画展を開催する。</p>	<p>1 特別展 「華麗なる明治-宮廷文化のエッセンス-」 会期:令和4年2月19日～4月10日 入館者数:11,109人</p> <p>2 企画展 ①「中世佐竹氏の世界 -千秋文庫所蔵文書から-」 会期:令和3年4月29日～6月13日 入館者数:6,664人</p> <p>②(アーカイブズ展)「絵図・地図・アーカイブ図-描かれた茨城の都市と村-」 会期:令和3年7月15日～9月5日 入館者数:2,892人</p> <p>③「ふえいす-掘り出された顔かたち-」 会期:令和3年9月18日～11月23日 入館者数:15,760人</p> <p>④「親鸞を継ぐ-如信をめぐる遺宝-」 会期:令和3年12月4日～1月30日 入館者数:4,539人</p>	<p>1 特別展 ①読売新聞社企画巡回展「知の大冒険-東洋文庫 名品の煌めき-」 会期:令和4年9月27日～11月23日</p> <p>②「鹿島と香取」 会期:令和5年2月17日～3月21日</p> <p>2 企画展 ①「ビフォー・アフター三昧塚古墳」 会期:令和4年4月29日～6月19日</p> <p>②「関東天台-東国密教の歴史と造形-」 会期:令和4年7月16日～9月4日</p> <p>③(アーカイブズ展)「茨城のみち-写真からみる交通の発達と県民のくらし-」 会期:令和4年12月10日～1月29日</p>	<p>・感染予防対策を講じた体験型展示を開発していく。 ・感染拡大地域や諸事情で来館が難しい方々へ展示場・解説の動画撮影を行い、ユーチューブやツイッターでの配信を行っていく。</p>

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
⑮まちづくり推進費 (都市計画課) 決算額等(千円) R3決算: 592 R4当初:1,508	1 まちづくりシンポジウム 開催地の実情や社会情勢に応じたテーマに基づき、講演やパネルディスカッション等を行うほか、「チャレンジいばらきまちづくり表彰」の表彰式を行う。 2 チャレンジいばらきまちづくり表彰	1 まちづくりシンポジウム 令和4年1月18日開催 2 チャレンジいばらきまちづくり表彰 まちづくりシンポジウム内で表彰を実施	1 まちづくりシンポジウム 開催時期未定 2 チャレンジいばらきまちづくり表彰 まちづくりシンポジウム内で表彰を実施する予定	会員等の賛同が得られれば、会場ではなくオンライン開催に変更していく。
⑯文化施設の連携体制の強化 (生活文化課・文化課) 決算額等(千円) R3 決算:- R4 当初:-	関東甲信越静岡ブロック文化・文化財行政主管課長協議会を共同で開催または、他県等で開催した際に出席することにより、文化財行政及び文化行政の連携を深める。	書面開催 (持ち回りにより事務局は東京都)	持ち回りにより、群馬県において当該会議を開催予定。	-

【再掲】

- ・近代美術館美術普及事業(文化課)
- ・近代美術館常設展(文化課)
- ・近代美術館企画展(文化課)
- ・つくば美術館美術普及事業(文化課)
- ・天心記念五浦美術館美術普及事業(文化課)
- ・陶芸美術館美術普及事業(文化課)
- ・陶芸美術館常設展(文化課)
- ・陶芸美術館企画展(文化課)

- ・陶芸美術館資料整備(文化課)
- ・自然博物館教育普及事業(文化課)

(4) 地域における文化活動の支援

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
①地域創造の助成事業 (生活文化課) 決算額等(千円) R3 決算:- R4 当初:-	(一財)地域創造より募集のあった助成金について、県内市町村等に情報提供するとともに、とりまとめを行い、申請を行う。	(1) 地域の文化・芸術活動助成事業 採択 3 件:茨城県 (公財)水戸市芸術振興財団 (公財)取手市文化事業団 (2) 地域伝統芸能等保存事業 採択 2 件:石岡市、常陸太田市	(1) 地域の文化・芸術活動助成事業 採択1件: (公財)水戸市芸術振興財団 (2) 地域伝統芸能等保存事業 採択1件:石岡市	—

【再掲】

- ・茨城県芸術祭(生活文化課)
- ・各文化活動への後援(生活文化課)
- ・いばらき文化振興財団運営費補助(生活文化課)
- ・文化行政推進費(生活文化課)

(5) 財政上の措置

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
①文化振興基金積立金 (生活文化課) 決算額等(千円) R3 決算: 206 R4 当初: 589	文化振興を図るため、安定した財源を確保し、文化振興を推進する。	R3 運用益(受取利息) 206 千円 ・運用益を伝統文化総合支援事業に活用 ・基金の取崩しを茨城県文化プログラム推進事業に充当	基金の充当	—

(6) 顕彰

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
①ほう賞事務取扱費 (秘書課) 決算額等(千円) R3 決算:455 R4 当初:602	茨城県知事褒賞事務取扱要領に基づき、表彰状、賞状、感謝状、褒状等の交付を行う。	・表彰状: 807 枚 ・賞 状: 904 枚 ・感謝状: 885 枚 ・褒 状: 27 枚	・表彰状: 67 枚 ・賞 状: 53 枚 ・感謝状: 85 枚 ・褒 状: 1 枚 ※令和4年5月31日現在	・スポーツ大会等の中止により、賞状申請件数が減少。申請件数が戻った時に備え、審査や筆耕の体制を維持する。
②県功績者表彰費 (秘書課) 決算額等(千円) R3 決算:3,379 R4 当初:4,357	・茨城県表彰規則に基づき、県の名声を高めるとともに、広く県民から敬愛され、社会に明るい希望を与えた方及び社会の進歩発展に著しい功労・功績のあった方等を表彰する。	・期日:令和3年11月12日 ・表彰対象者 53 人、12 団体 県民荣誉賞表彰1人 特別功労賞表彰 5 人 功績者表彰 31 人・9 団体 新しいいばらきづくり表彰 3 人・3 団体 知事奨励賞表彰 13 人	・期日:令和4年11月13日頃(調整中) ・10月上旬の受賞者決定を目指して、候補者選考を進める。	・スポーツや文化芸術の活動が抑制され、優れた功労者の発掘が困難な状況。一方、新型コロナウイルス感染症対策に貢献した功績者も想定される。 こういった候補者の発掘に努めるとともに、今後の状況に合わせ適切な表彰式の開催方法を検討していく。

4 事業KPI

・県政情報の到達度(単位: %) ★10

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	53.0	54.6	55.0	56.5	58.0
実績値	37.6	33.6	40.4	38.1	37.1
達成率(%)	70.9	61.5	73.5	67.4	64.0

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・V(1)① 県政情報紙発行費(「ひばり」)
- ・V(1)② ラジオ広報(県だより等)
- ・V(1)③ 政策広報(新聞広報等)
- ・V(1)④ 県政キャンペーン広報
- ・V(1)⑤ インターネット情報発信事業
- ・V(1)⑥ いばらきインターネットテレビ事業(いばキラTV)

・メディアへの掲載件数(単位: 件) ★11

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	—	1,300	1,600	1,700	1,600
実績値	1,173	1,304	1,576	1,075	1,680
達成率(%)	—	100.3	98.5	63.2	105.0

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・V(1)⑦ メディア訪問強化事業
- ・V(1)⑧ メディア活力魅力発信強化事業
- ・V(1)⑨ パブリシティ活動強化事業

・県民文化センター利用率(単位: %) ★12

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	—	72.5	77.0	80.0	80.0
実績値	79.6	73.6	67.4	43.6	59.2
達成率(%)	—	101.5	87.5	54.5	74.0

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・V(3)① 県民文化センター施設整備
- ・V(3)② 県民文化センター管理委託
- ・V(3)③ 県民文化センターコンベンション機能強化事業費

・アクアワールド茨城県大洗水族館入館者数(単位: 万人) ★13

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	—	113	113	120	125
実績値	113	112	106	65	80
達成率(%)	—	99.1	93.8	54.2	64.0

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・V(3)④ アクアワールド茨城県大洗水族館施設整備
- ・V(3)⑤ アクアワールド茨城県大洗水族館魅力向上事業

5 事業の評価

【期待した成果を下回っている】（達成率の平均は76.8%であることから、「期待した成果を下回っている」と評価）

「県民文化センター利用率」はR2年度の43.6%からR3年度59.2%となり、達成率は74.0%と前年度より増加し、「アクアワールド茨城県大洗水族館入館者数」もR2年度の65万人からR3年度80万人となり、達成率は64.0%と前年度よりも増加したところであるが、新型コロナの影響により全体の目標達成度は「期待した成果を下回っている」となった。特に、文化センターと水族館では、感染拡大市町村指定や県有施設休館、まん延防止等重点措置適用など、年間を通して新型コロナの影響を大きく受けたところであるが、経費削減及び文化センターでの文化庁補助事業を活用した催事の開催等や水族館での年間を通じた20周年記念事業の展開等による収益改善に努めたところである。

6 今後の展開・方向性

ホームページやSNSなどの情報発信媒体を活用して、文化芸術に対する県民の意識醸成を図っていく。

県立文化施設については、施設の利便性向上や老朽化対策を行い、適切な維持管理に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図り、引き続き利用者に安全・安心で快適な空間を提供していく。また、県民文化センターについては、県民ニーズを踏まえた公演等の提供や動画配信設備を活用した利用促進に努めていく。大洗水族館については、サメの繁殖成果や季節感などを活かしたイベントを4～6月、7～10月、11月～3月と大きく3つの時期に分けて実施するなど、入場者の増加に努める。

VI いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会及び東京オリンピック・パラリンピックを契機とした文化の向上

1 施策の方向

大会イベント等を通じて、茨城の魅力を発信し、文化の振興と地域の活性化を図る。さらに、大会終了後の文化活動と地域の継続的な活性化につなげる。

2 課題

文化プログラムの認証制度を活用しながら、茨城ならではの数多くの文化プログラムを実施することにより、文化活動を活性化させ、その魅力を県内はもとより、全国や世界に向けて発信するとともに、大会終了後も長期的にその成果を持続させていく必要がある。

3 県の取組状況

(1) いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会における文化プログラムの実施

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
①第74回国民体育大会推進事業 (産業政策課)	茨城国体・障害者スポーツ大会の文化プログラムとして、県内で行われるイベント等を取りまとめ発信するとともに、本県の文化・歴史等を活用した事業を行うことで、本県の有する資源、魅力を再発見し、国内外に発信する機会とする。	(R1 年度で事業終了)	—	—

(2) 東京オリンピック・パラリンピックにおける文化プログラムの実施

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
<p>①東京オリンピック・パラリンピック推進事業費★14 (オリンピック・パラリンピック課) 決算額等(千円) R3 決算:56 R4 予算:—</p>	<p>茨城県がホストタウンとなっているベルギー、ベトナムとの交流を進めるため、大使館職員等を招き、講演会等を実施する。</p>	<p>地域イベントにおいてベルギーチームのPR ブース出展 ・ひたちなか・大洗・東海PRの日 5/9 ※新型コロナの影響により、交流事業は中止。</p>	<p>(R3 年度で事業終了)</p>	<p>—</p>
<p>②茨城県文化プログラム推進事業★15 (生活文化課) 決算額等(千円) R3 決算:14,947 R4 当初:—</p>	<p>2019 年の茨城国体、2021 年のオリンピック・パラリンピックという二つの大きなスポーツの祭典を契機に、多くの県民等の参加による文化プログラムを実施し、本県の文化の魅力を国内外に発信する。</p>	<p>平成 29 年度及び平成 30 年度に表彰した優秀提案をもとに、県が事業化に取り組む。 ○リボン・アートボール 2020 展 アスリートが使用した廃ボール等をアートで再生させる、スポーツとアートとリサイクルを融合させた取り組み。 ①ワークショップの開催 計 14 回 916 名参加 ②フェスティバルの開催 イオンモール下妻 12/20～26 イオンモールつくば 1/24～30 689 人来場 ③PR 冊子の作成</p>	<p>3 市町村等でワークショップを実施予定 (石岡市、大洗町、鹿嶋勤労文化会館)</p>	<p>今後も本事業が東京オリンピック・パラリンピックのレガシーとして地域で継続されるように、今年度から、県で実施している「文化芸術出前講座」のメニューに加えるとともに、実施団体へのワークショップ等運営に関する技術的助言や県が収集した廃棄ボールの提供などの支援を行っていく。</p>

事業名	事業内容	R3 年度実績	R4 年度取組状況	今後の方針・方向性
③文化プログラム認証事業 ★15 (生活文化課) 決算額等(千円) R3 決算:2,076 R4 当初:ー	東京オリンピック・パラリンピック競 技大会に向けて、開催地となる本 県でも県内各地で実施される文 化イベントを文化プログラムとして 認証し、本県文化の魅力を国内 外に積極的に発信していく。	通知や各種会議の場において、市町村 や文化団体等に認証の申請を働きかけ た。 ・beyond2020 プログラム本県が認証した 件数 785 件	(R3 年度で認証制度は終了)	ー
④オリンピック・パラリンピッ ク教育推進事業 (保健体育課) 決算額等(千円) R3 決算:3,661 R4 当初:ー	・オリンピック・パラリンピック教育 推進事業は、スポーツ庁との委託 契約に基づく事業である。 ・オリンピック・パラリンピック教育 推進校を指定し、全国中核拠点 の筑波大学と連携しながら、最新 の知見をもとに教育実践を行い、 オリンピック・パラリンピックに向け た機運の醸成を図るとともに、スポ ーツの価値への理解を深め、規 範意識の涵養、国際・異文化理解 解、共生社会への理解等、多面 的な教育の充実を図る。 ・実践研究の成果を教育現場に 発信し、スポーツに対する理解と 関心を高め、オリンピック・パラリン ピック・ムーブメントの普及・推進を 図る。	1 教育推進校 29 校 (内訳) ・小学校:23 校 ・中学校:4 校 ・義務教育学校:1 校 ・県立特別支援学校:1 校 2 教育推進校セミナー (文書による開催) 対象:教育推進校及び教育推進校の 市町村教育委員会 3 教育推進事業の実践 各推進校にて7月～1月に実施 4 教育推進校ワークショップ 期日:1/21 オンラインにて開催 対象:教育推進校 5 教育推進校事業実施報告書の作成・ 配布 配布先:県内小・中・義務教育学校、 県立学校等	(R3 年度で事業終了)	ー

4 事業KPI

事前キャンプ誘致に取り組む市町村数 ★14

	2017(基準)	2018	2019(目標)
目標値	—	21	26
実績値	28	29	27
達成率(%)	—	138.1	103.8

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・ VI (2) ① 東京オリンピック・パラリンピック推進事業費

文化プログラム認証件数(単位:件) ★15

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	4	215	427	638	850
実績値	4	334	665	747	785
達成率(%)	100	155.3	155.7	117	92.4

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・ VI (2) ② 茨城県文化プログラム推進事業
- ・ VI (2) ③ 茨城県文化プログラム認証事業

5 事業の評価

【概ね期待通りの成果】

「文化プログラム認証件数」については、新型コロナウイルス感染症の影響による催事の中止等により認証件数が伸び悩んだことから、達成率は92.4%に留まったが、概ね期待どおりの成果をあげることができた。

6 今後の展開・方向性

東京オリンピック・パラリンピックを契機とした文化振興を図るため、茨城独自の文化プログラムを実施し、本県の魅力を国内外に広く発信してきたところあるが、このうち、リボン・アートボール事業（使い古され捨てられてしまうスポーツ用のボールに絵を描いたり工作をしたりして、アートの方で再生（リボン）させるもので、「スポーツ」と「アート」と「リサイクル」を融合させた取り組み）について、大会終了後も「文化芸術出前講座」のメニューに加えるとともに、実施団体へのワークショップ等運営に関する技術的助言や県が収集した廃棄ボールの提供などの支援を行い、東京オリンピック・パラリンピックのレガシーとして地域で継続されるように努めていく。